

市民アンケート調査結果

2020年10月

1-1 アンケート調査の概要

(1) 調査の概要

1) 調査の目的

本調査は、千葉市環境基本計画の策定にあたり、市民の環境保全に対する取組状況、環境保全活動・情報収集の現状や課題、基本目標の効果についての考えなどを明らかにし、計画検討に反映させるための基礎資料とすることを目的として行いました。

2) 調査方法

WEB	市内在住の18歳以上の市民を対象に実施
郵送	WEBアンケートで回収が目標に満たないと想定された18-19歳、70-89歳を対象に、郵送により調査票を配布・回収

3) 調査期間

WEB:令和2年7月13日(月)~7月27日(月)

郵送:令和2年8月8日(土)~8月21日(金)

4) 調査対象及び回収結果

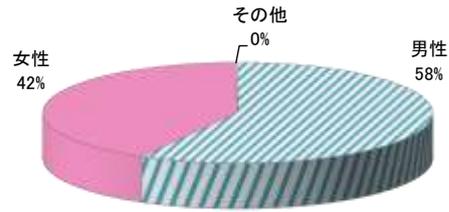
区分	調査票配布者数	有効回収数	有効回収率
WEB調査	15,900人	2,373人	—
郵送調査	873人	234人	26.8%

※WEB調査については調査対象者数を算出することが困難であるため回収率は記載しない
(配布対象者の中に調査対象外の人(千葉市民で無い人)が含まれている可能性があるため)

(2) 回答者の属性

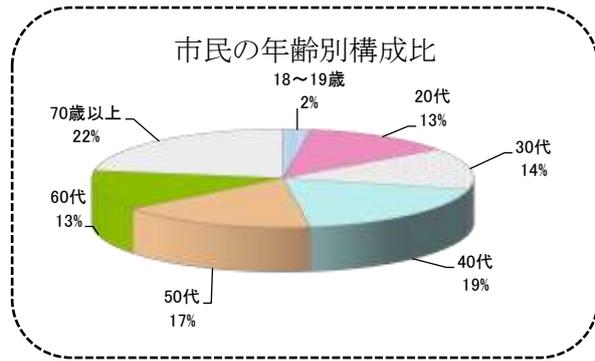
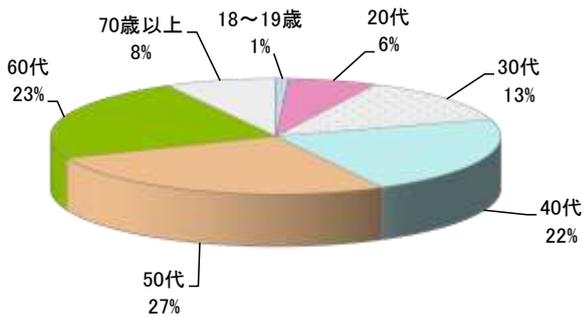
(i) 性別

男性の回答率の方が高い結果となりました。



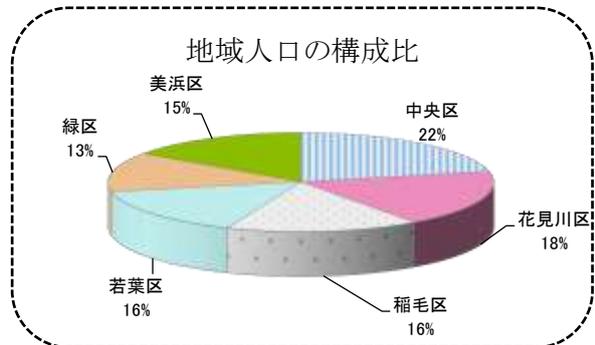
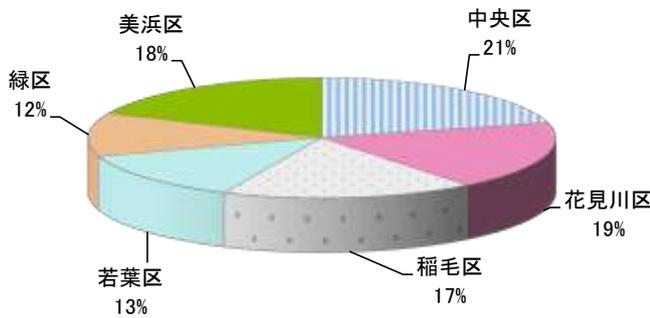
(ii) 年齢

様々な世代から回答をいただいておりますが、市民の年齢別構成比と比較して、40代、50代、60代が多くなっており、20代が少ない傾向となっています。



(iii) 居住地区

各地域より満遍なく回答をいただきました。



1-2 市民の環境意識調査結果

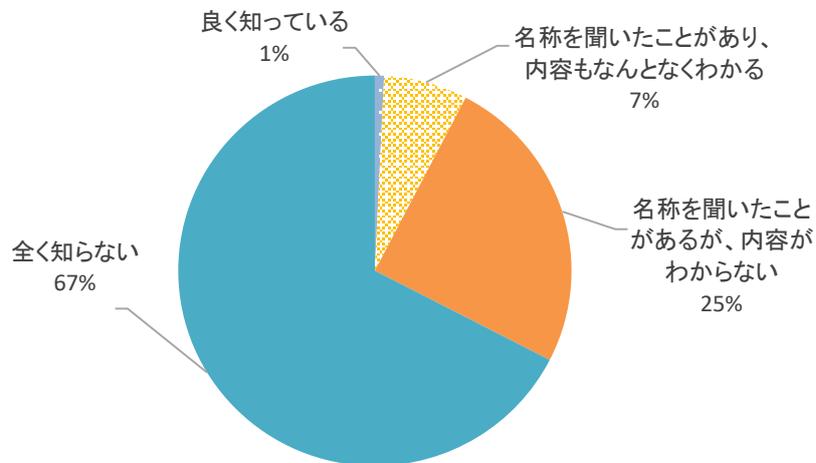
2 環境基本計画について

あなたは千葉市環境基本計画をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

【有効回答 2537 人、無回答・無効 24 人】

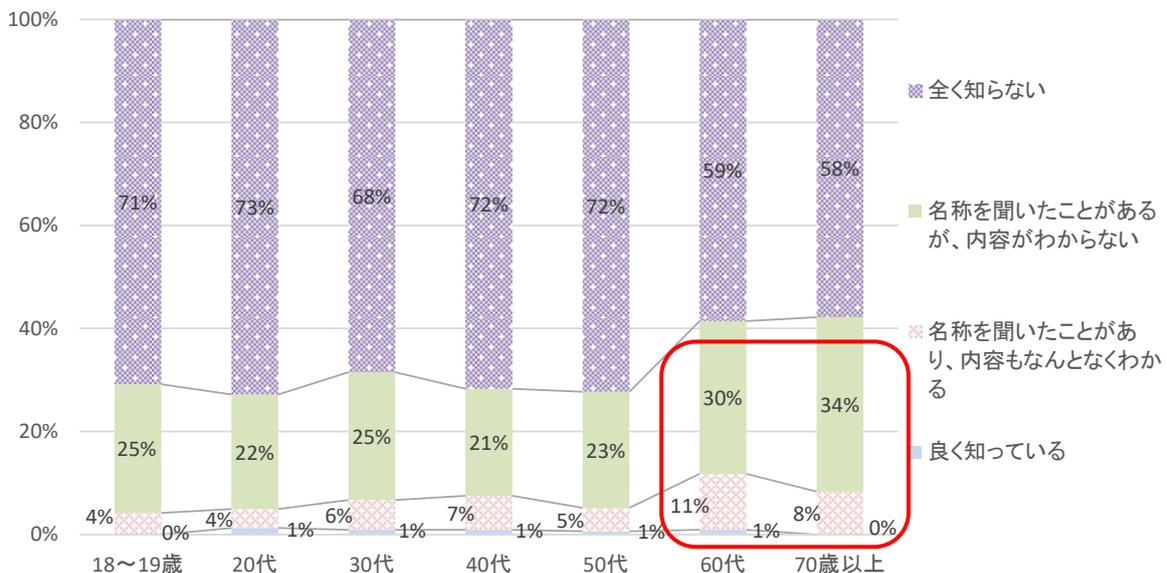
<全体傾向>

- 「全く知らない」が67%で最も多くなり、アンケートに回答した市民のうち、半数以上が環境基本計画を知らないことが分かりました。



<年齢別傾向>

- 年代別では「名称を聞いたことがあり、内容もなんとなくわかる」「名称を聞いたことがあるが内容がわからない」が多かったのは60代以上となり、50代以下は大きな差は見られませんでした。
- 50代以下の幅広い年代層に環境基本計画を知ってもらえるように周知が必要です。



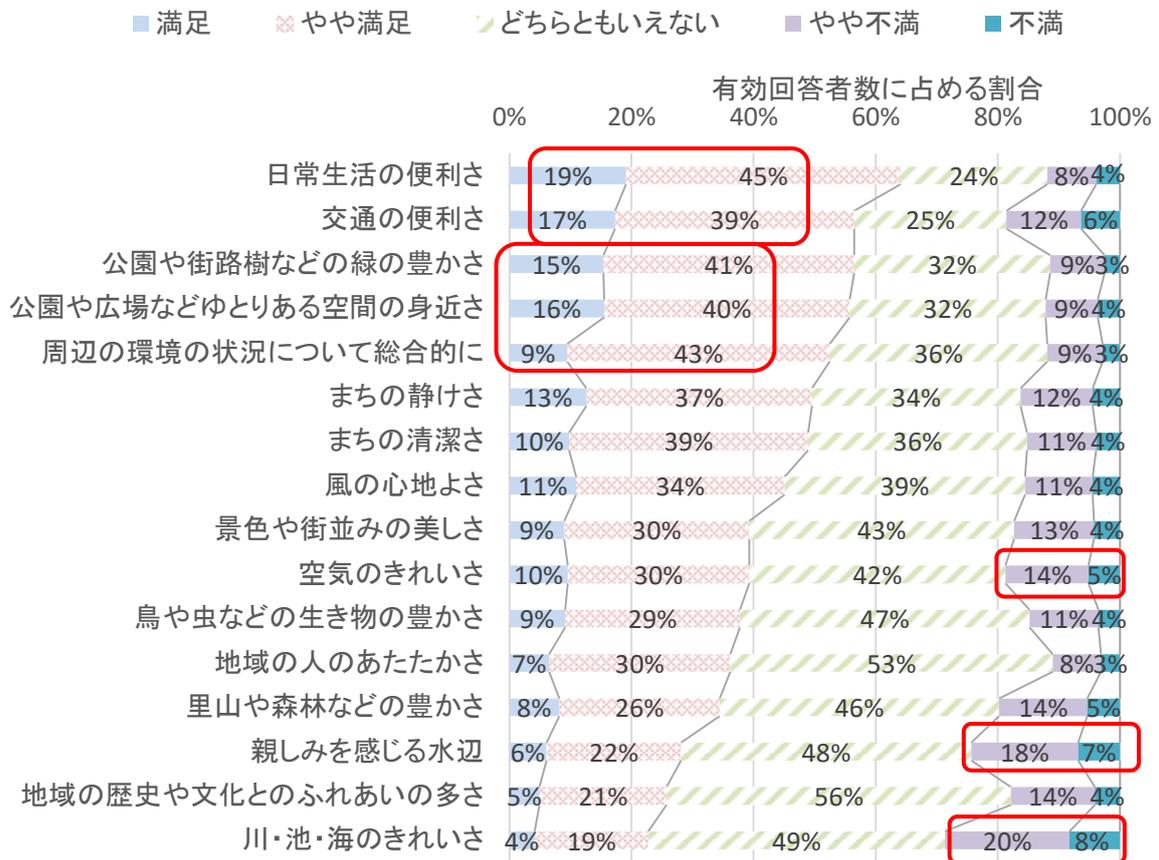
3-1 お住まいの周辺の環境の満足度

あなたのお住まいの周辺の環境について、現在、どの程度満足していますか。以下の項目それぞれについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

【有効回答 2540～2555 人、無回答・無効 6～21 人】

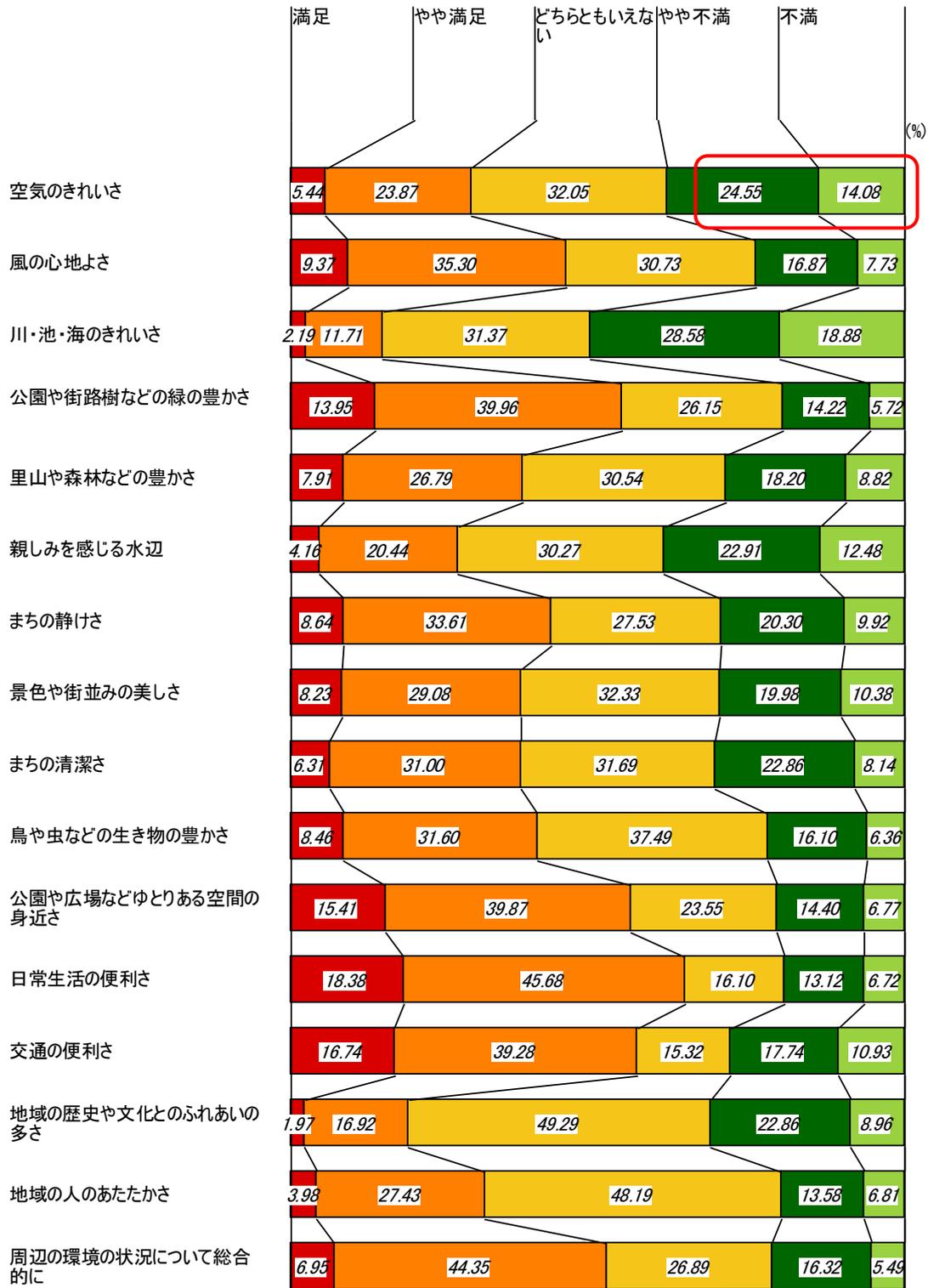
<全体傾向>

- 「満足」「やや満足」の割合は「日常生活の便利さ」が最も多く 64%となり、次いで「交通の便利さ」が 56%となりました。また、公園、街路樹、広場などの周辺の環境についても 50%以上となり、高い満足度を占めています。
- 一方で、「やや不満」「不満」の割合が最も多かったのは「川・池・海のきれいさ」、次いで「親しみをを感じる水辺」で、水環境に関する満足度が低くなり、対策が求められます。
- 過年度の調査結果と比較すると、過年度では「やや不満」「不満」の割合が約 39%で 2 番目に大きかった「空気のきれいさ」について、今年度の調査では 19%となり、改善傾向が見られます。



※満足・やや満足が高い割合順に掲載

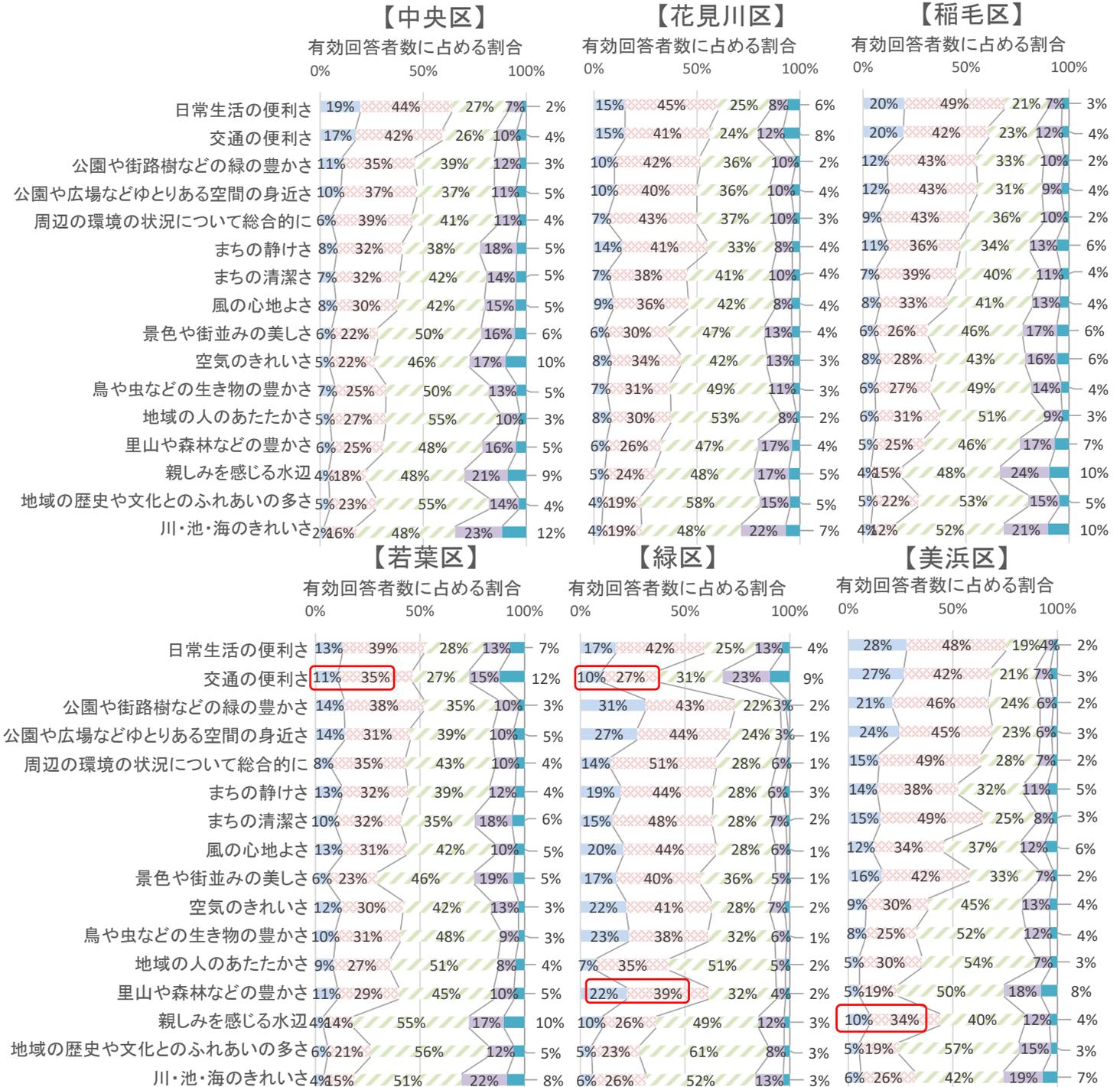
【過年度の調査結果】



<地域別傾向>

- 中央区、花見川区、稲毛区については全体傾向と同様の傾向となりました。
- 緑区と若葉区において、全体傾向と比較して「交通の便利さ」に対し「満足」「やや満足」の割合が低く、公共交通の利用に対しての満足度が低いことが伺えます。
- また、他の地域と比較すると、緑区で「里山や森林などの豊かさ」、美浜区で「親しみを感じる水辺」の満足度が高くなっており、各地域の特色が反映された結果となりました。

■ 満足 ✖ やや満足 ▨ どちらともいえない ■ やや不満 ■ 不満



※全体傾向と同じ順に掲載

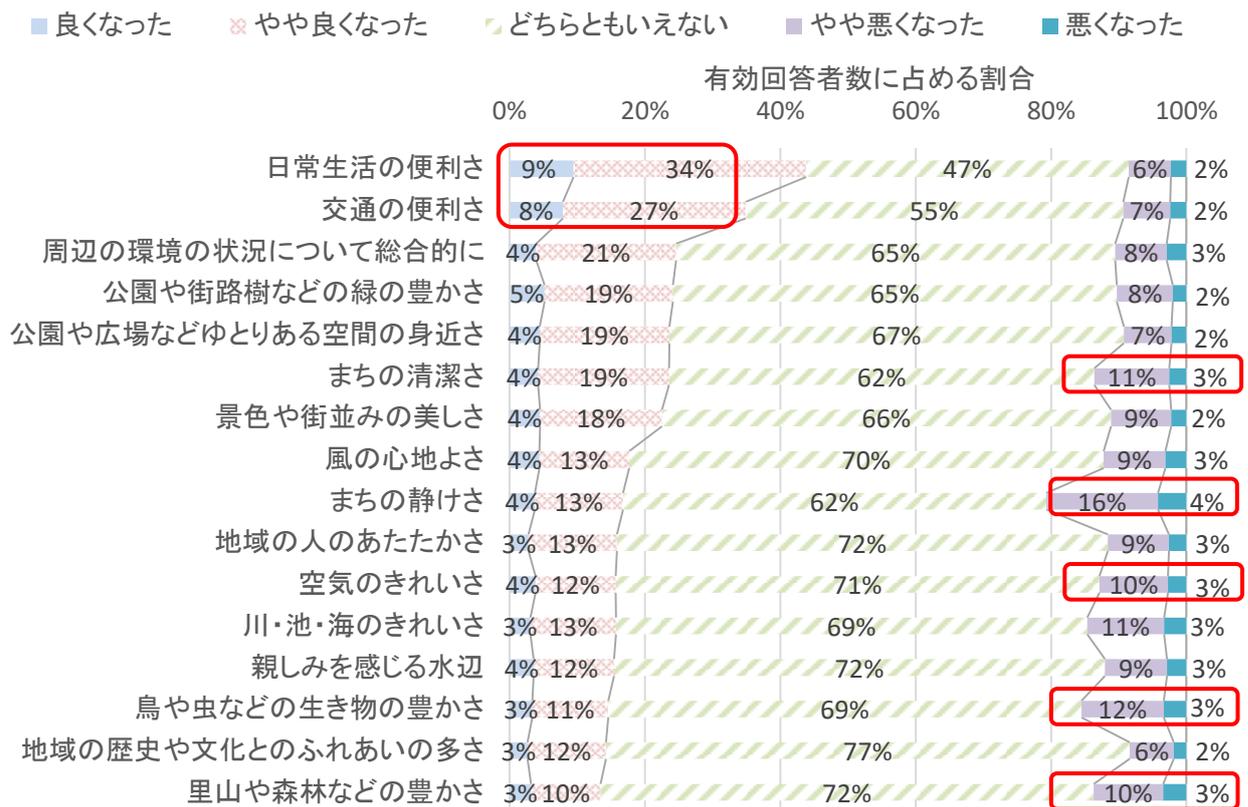
3-2 お住まいの周辺の環境変化

あなたのお住まいの周辺の環境は、10年前に比べてどのように変化しましたか。以下の項目それぞれについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。また、その中で1つ選び、理由を教えてください。

【有効回答 2095~2108人、無回答・無効 453~466人】

<全体傾向>

- 10年前と比べて「良くなった」「やや良くなった」環境は問3-1の現在の周辺の環境の満足度同様に、「日常生活の便利さ」が最も多く、次いで「交通の便利さ」となりました。
- 一方で「やや悪くなった」「悪くなった」が多かったのは「まちの静けさ」で、次いで「鳥や虫などの生き物の豊かさ」「まちの清潔さ」「空気のきれいさ」「里山や森林などの豊かさ」の順となっており、自然環境や生活環境について悪くなったと感じている市民が多い傾向にあります。
- 「川・池・海のきれいさ」「親しみを感じる水辺」「地域の歴史や文化とのふれあいの多さ」「里山や森林などの豊かさ」については、問3-1の現在の環境の満足度でも満足との回答が低くなっており、10年前から継続して満足度が低いことが伺えます。



※良くなった・やや良くなったが高い割合順に掲載

■選んだ主な理由

選択肢		主な理由
1	空気のきれいさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・富士山が以前より良く見えるようになった <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スモック注意報が出る ・交通量が増えた ・野焼きをしている人がいる ・南風が吹くとき、海から悪臭がすることがある ・工場地帯が近くにある
2	風の心地よさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・工業地帯からの排気があまり感じられなくなった <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・風が強くなったと思う ・大きなマンションがたくさん建ちビル風が強くなった ・夏場の風通しが悪くなったように思う
3	川・池・海きれいさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境整備が進み水がきれいになった ・砂浜や海岸が施設も含めて綺麗になった <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨てなどのゴミが多い ・プラスチックごみが海辺に漂っている ・ゴミや生き物の死骸が増えた ・蛍がいなくなった ・海がきれいに感じなくなった
4	公園や街路樹などの緑の豊かさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・年が経つにつれて樹木も成長し、動物も増えてきた ・遊具や植栽などの管理入れ替えが、定期的に行われている ・公園が、あちこちにあり整備されている <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・町全体の樹木等の手入れがなされておらず交通に支障をきたしている
5	里山や森林などの豊かさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山がひろがり都会では味わえない楽しさがある <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・畑が減りアパートが増えて緑が少なくなった ・元あった森などが色々な建物を建てるために伐採された
6	親しみを覚える水辺	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・稲毛海岸の砂浜が白砂になった ・海岸がきれいになった <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・幕張の浜の砂が少なくなった ・護岸工事が整備されていない
7	まちの静けさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛行機の騒音は改善した <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通量が増え騒音と空気が悪化した ・近隣の人口増加による影響 ・暴走族風の若者がバイクを走らせてうるさい
8	景色や街並みの美しさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・たばこのポイ捨てがない ・各街区の清掃が行き届いている ・歩道が整備されてきた ・新築の家が増えた ・劣化していた部分がかかなり改善された ・電柱等が地下に移されすっきりした地区が増えた <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・歩道の雑草が汚い ・空き家そのまま放置されている
9	まちの清潔さ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミ収集場はどこもきれいになった ・歩いていても道路にごみが落ちていない <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴミのポイ捨てする学生が増えた ・以前は公園や遊歩道の清掃活動が盛んに行われていた ・ゴミの出し方について、ルール通りでないことが多い
10	鳥や虫などの生き物の豊かさ	<p><良くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・鳥のさえずりや蝶などの豊かさ <p><悪くなった></p> <ul style="list-style-type: none"> ・燕と雀の姿が極端に減った ・トンボやセミなどをあまり見かけなくなった

選択肢		主な理由
		<ul style="list-style-type: none"> ・以前はごく当たり前にいた動植物がととも減ったと感じる ・見かける昆虫の種類が減った
11	公園や広場などゆとりある空間の身近さ	<ul style="list-style-type: none"> <良くなった> ・大きな公園が近くにある ・公園が増えていていると感じる ・公園の整備がきちんと進めている事が良く見られる <悪くなった> ・公園が近くにない ・子供たちが遊べる環境がなくなっている ・空地が減って、高層マンションが増えた ・豊かな自然を活かしきれていない
12	日常生活の便利さ	<ul style="list-style-type: none"> <良くなった> ・大型のショッピングセンターが出来て便利になった ・スーパーが増えた ・商店やコンビニが増えた ・交通の便が良い ・特に不便を感じない <悪くなった> ・街が廃れたように感じる
13	交通の便利さ	<ul style="list-style-type: none"> <良くなった> ・電車やバスの本数が増えて快適になった ・道路が改善された ・高速道路が整備された ・都心へのアクセスが良い <悪くなった> ・電車の本数が少ない ・バスの便数が激減した、長距離バスがなくなった ・交通渋滞でバスの運行時間が予定通り運行されない ・車が無いとどこにも行けない
14	地域の歴史や文化とのふれあいの多さ	<ul style="list-style-type: none"> <良くなった> ・住民同士のコミュニティが増えてきたと感じる ・加曾利貝塚が整備された ・千葉公園や千葉みなと地区に活気がある ・千葉市の歴史についての講演会やイベント、ポスター掲示を見かけるようになった <悪くなった> ・講演会の開催が減っている ・千葉の歴史や文化に特徴がない
15	地域の人へのあたたかさ	<ul style="list-style-type: none"> <良くなった> ・ずっと前から変わらない温かさがある ・定年退職してから周辺地域の人との交流が増えた <悪くなった> ・地域の付き合いがない ・マナーのない人がふえた ・世代が変わって人づきあいが減った ・外国人が増えた
16	周辺の環境の状況について総合的に	<ul style="list-style-type: none"> ・特に変わりがない <良くなった> ・便利で住みやすい ・環境整備に手をかけていると感じる ・住宅地と自然環境の融合が上手く噛み合っている <悪くなった> ・街の清潔さが悪化 ・農耕地が減り、樹木の伐採も進み、未だに住宅建設が進んでいる

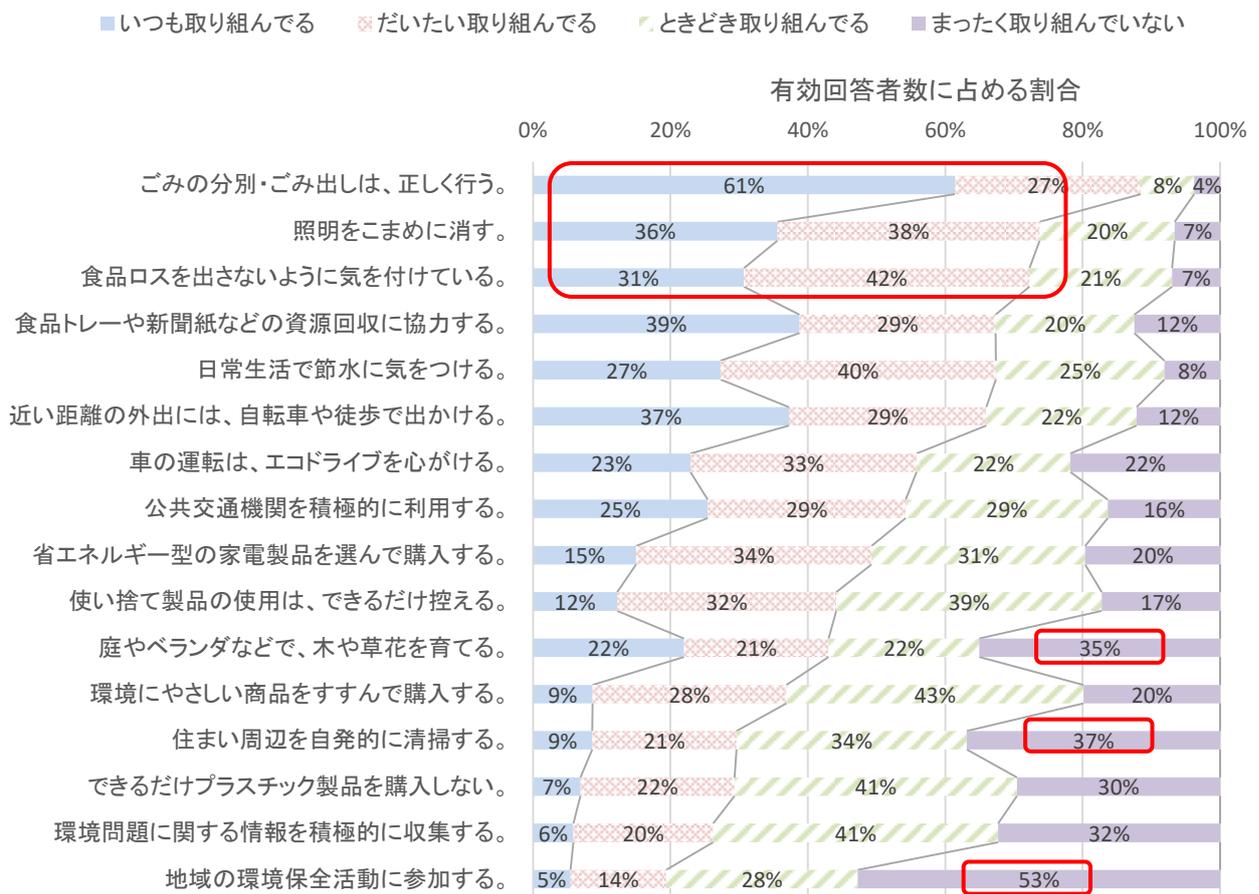
4 環境配慮行動の実施状況

環境問題を解決するための以下の取り組みについて、あなたは日頃どれくらい取り組んでいますか。また、「その他に取り組んでいること」や「取り組まない理由」などがあれば教えてください。

【有効回答 2509～2555 人、無回答・無効 6～25 人】

<全体傾向>

- 「ごみの分別・ごみ出しは、正しく行う」「照明をこまめに消す」「食品ロスを出さないように気を付けている」などの取組は 70%以上が取り組んでいます。
- 一方で「地域の環境保全活動に参加する」については半数以上が「まったく取り組んでいない」と回答しており、取組の促進が必要です。また、次いで「まったく取り組んでいない」割合が高い「住まい周辺を自発的に清掃する」「庭やベランダなどで、木や草花を育てる」など、手間がかかる取り組みについて取組が進んでいない傾向にあります。



※いつも取り組んでいる・だいたい取り組んでいるが高い割合順に掲載

■その他の取組（主な意見）

- ・外での喫煙を注意する
- ・太陽光発電、ソーラー熱利用システムを設置した
- ・オール電化住宅にした
- ・不用品を廃棄する前にリサイクルショップへの売却を検討している
- ・家庭菜園で野菜を育てている

■取り組まない理由（主な理由）

- ・時間が無い
- ・面倒くさい
- ・年齢や体調の為
- ・仕事や子育てで忙しい
- ・地域の交流が全くない、勇気が出ない
- ・車を持っていない、免許を返納した
- ・効果が評価できない
- ・あまり興味関心が無い
- ・プラスチック製品はどうしても勝ってしまう
- ・取り組み方が分からない
- ・環境保全活動に関する情報が提供されない

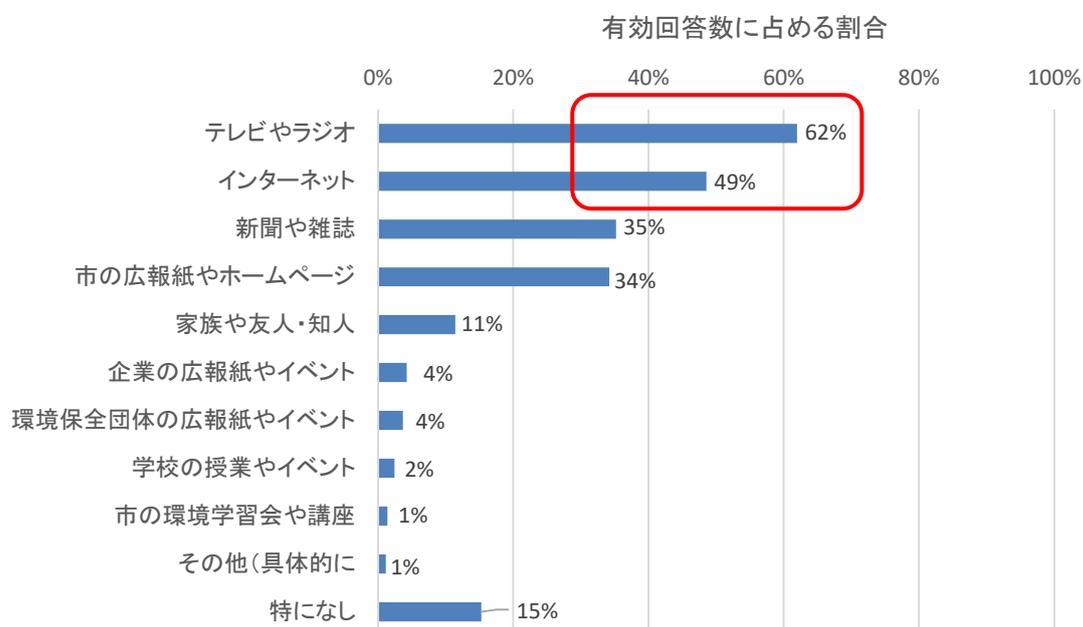
5-1 環境に関する情報の入手方法

あなたは環境についての情報や知識を、どこで知ったり学習したりしていますか。以下の項目の中から、あなたにあてはまるものをすべて選んでください。なお「特になし」をご選択された方は、それ以外の項目を選択しないでください。

【有効回答 2561 人、無回答・無効 5 人】

<全体傾向>

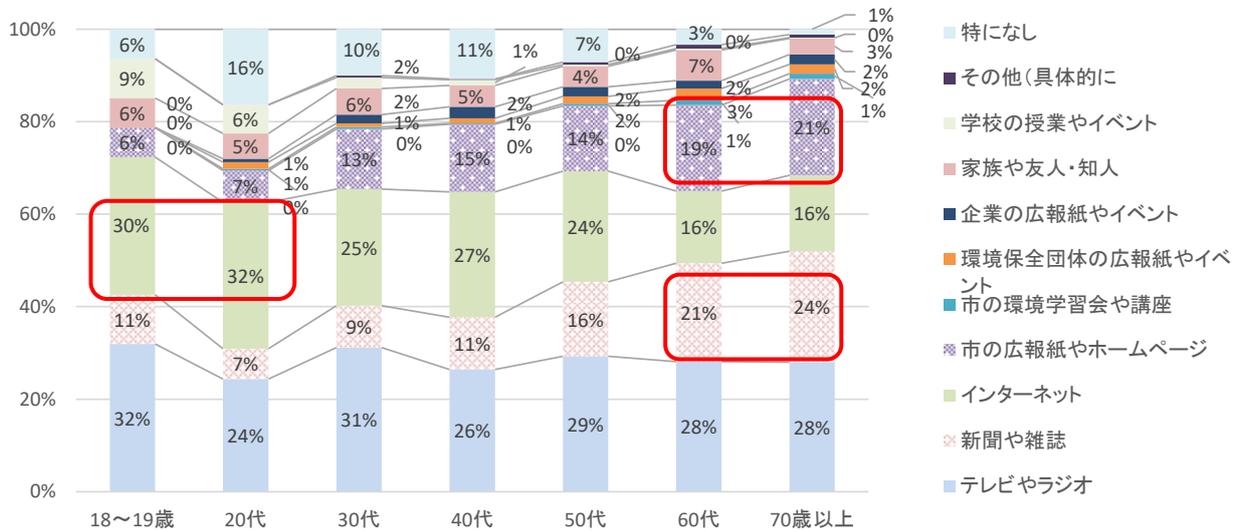
- 「テレビやラジオ」が最も多く62%、次いで「インターネット」が49%、「新聞や雑誌」35%、「市の広報紙やホームページ」が34%となりました。
- 「特になし」が15%となり、環境についての情報や知識をどの媒体からも得ていない市民が一定数いることが分かりました。環境に興味のない市民にも情報が行き渡るように、市民の利益関心に繋げた情報発信方法が求められます。



※多い順に掲載

<年代別傾向>

- 年代別で見ると、20代以下の若い世代では「インターネット」が多く使用されており、若者向けにはインターネットを通じた情報提供が有効であると考えられます。
- 60代以上では、他の世代と比べて「新聞や雑誌」及び「市の広報誌やホームページ」といった紙媒体や公共的な情報を通じて環境についての情報や知識を入手しています。各年代に合った媒体を活用した情報発信が求められます。



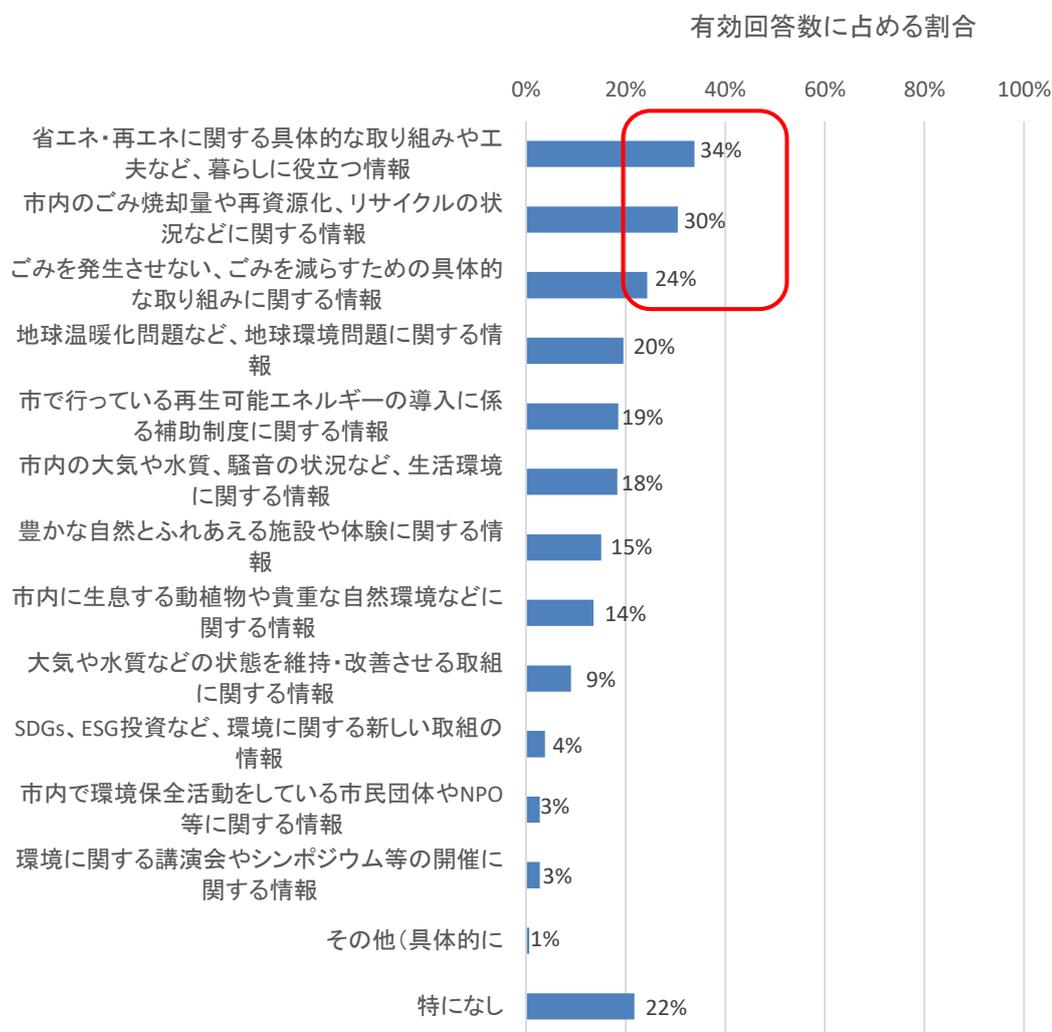
5-2 提供して欲しいと思う環境保全に関する情報

市のホームページや広報紙などにおいて、あなたが提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報を3つまで選んでください。なお「特になし」をご選択された方は、それ以外の項目を選択しないでください。

【有効回答 2513 人、無回答・無効 48 人】

<全体傾向>

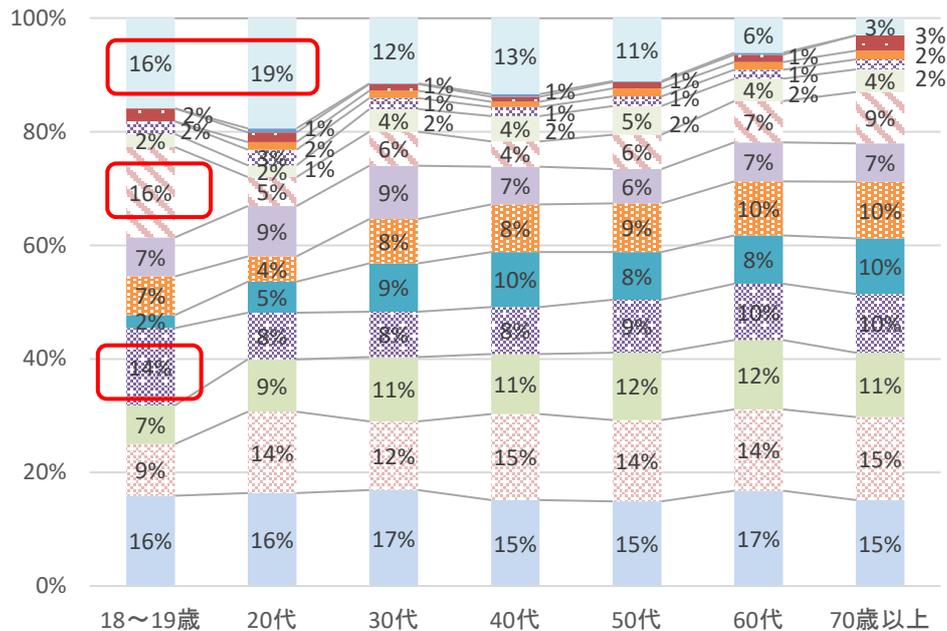
- 「省エネ・再エネに関する具体的な取り組みや工夫など、暮らしに役立つ情報」が最も多くなり、生活の中で実践できる取組に対して情報提供が求められます。
- 次いで、「市内のごみ焼却量や再資源化、リサイクルの状況などに関する情報」「ごみを発生させない、ごみを減らすための具体的な取り組みに関する情報」の割合が大きく、ごみに関する情報への関心が高い結果となりました。



※多い順に掲載

<年代別傾向>

- 20代以上では全体傾向と同様の傾向となりました。
- 18～19歳は「市内に生息する動植物や貴重な自然環境などに関する情報」や「地球温暖化問題など環境問題に関する情報」への関心が高くなっています。
- 20代以下の若い世代では、「特になし」が比較的高い割合となりました。若い世代の環境分野への興味関心を得るために、若者が多く利用するインターネット等を活用した情報提供などを検討する必要があります。



- 特になし
- 環境に関する講演会やシンポジウム等の開催に関する情報
- SDGs、ESG投資など、環境に関する新しい取組の情報
- 市内に生息する動植物や貴重な自然環境などに関する情報
- 市内の大気や水質、騒音の状況など、生活環境に関する情報
- 地球温暖化問題など、地球環境問題に関する情報
- 市内のゴミ焼却量や再資源化、リサイクルの状況などに関する情報
- その他(具体的に)
- 市内で環境保全活動をしている市民団体やNPO等に関する情報
- 大気や水質などの状態を維持・改善させる取組に関する情報
- 豊かな自然とふれあえる施設や体験に関する情報
- 市で行っている再生可能エネルギーの導入に係る補助制度に関する情報
- ゴミを発生させない、ゴミを減らすための具体的な取り組みに関する情報
- 省エネ・再エネに関する具体的な取り組みや工夫など、暮らしに役立つ情報

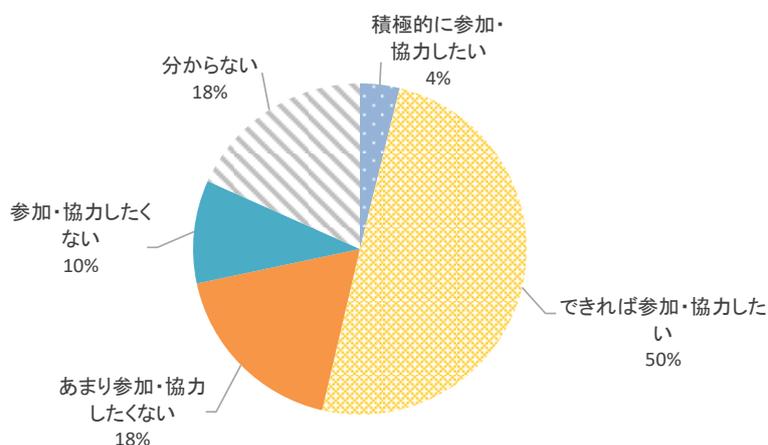
6 環境保全活動への参加について

千葉市の環境保全を進めるために、市、事業者、NPOなどが市民のみなさんと協働して環境保全の活動（例 清掃活動、緑化活動、水辺の観察会など）をしようとした場合、あなたはこれらに参加・協力したいと思いますか。次の中からあてはまるものを1つだけ選んでください。

【有効回答 2554 人、無回答・無効 7 人】

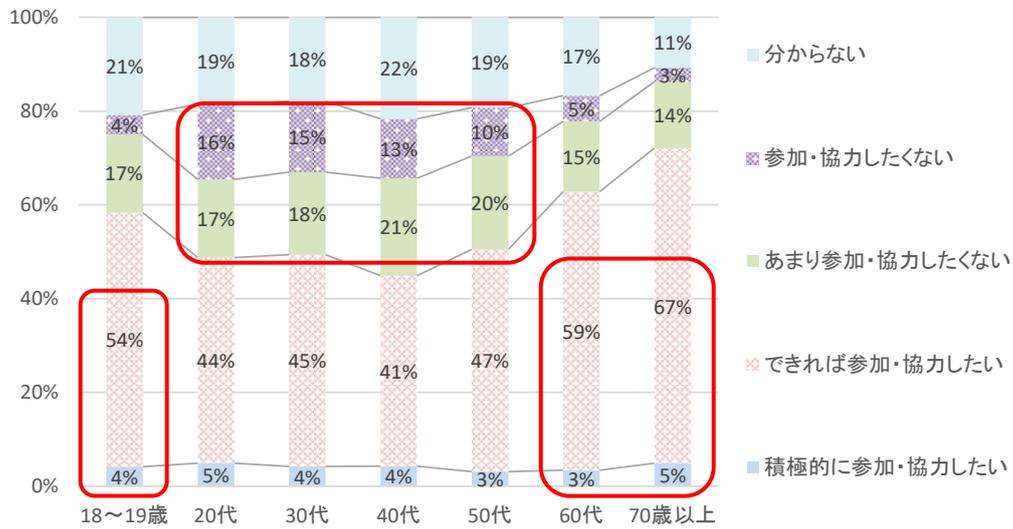
<全体傾向>

- 「積極的に参加・協力したい」「できれば参加・協力したい」が 54%で半数以上を占めており、環境保全活動への参加に意欲的な市民が比較的多いことが伺えます。
- 「あまり参加・協力したくない」「参加・協力したくない」と回答した市民に向けて、環境保全活動の意義や効果などを周知するなど効果的な働きかけが求められます。
- 18%の市民が「分からない」と回答しており、環境保全活動に関する周知、きっかけづくりが必要です。



<年代別傾向>

- 年代別では、18～19歳、60代以上において約60%以上が参加・協力したいと回答しており、特に積極的であることが分かります。
- 問6で参加・協力したくない理由として「仕事や家庭の都合で時間がとれないと思うから」が最も多くなっており、参加・協力したくない割合が高い20代～50代については子育てや労働に時間が取られる背景が伺えます。



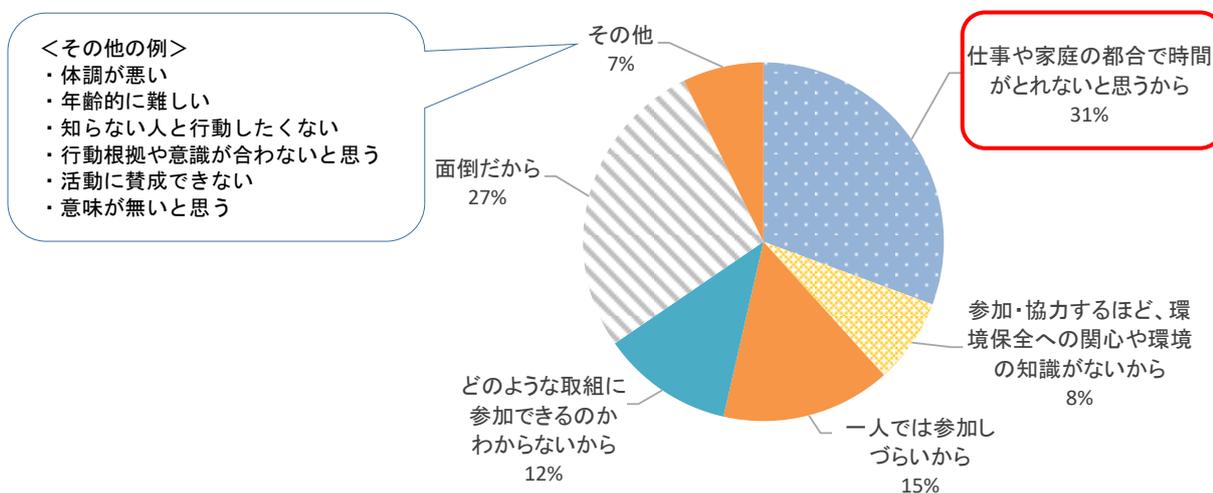
6 環境保全活動への参加について

上記で「3 あまり参加・協力したくない。」「4 参加・協力したくない。」と答えた方に質問します。参加・協力したくない理由を次の中から1つだけ選んでください。

【有効回答 717 人、無回答・無効 1884 人】

<全体傾向>

- 最も多かったのは「仕事や家庭の都合で時間がとれないと思うから」で 31% でした。
- 次いで多いのが「面倒だから」で 27% となっており、ここからも環境保全活動に興味のない市民が一定数いることが伺えます。
- 「どのような取組に参加できるのかわからないから」「参加・協力するほど、環境保全への関心や環境の知識がないから」など、活動に関する情報や知識の不足から参加に消極的な市民もいるため、より多くの市民に環境保全活動の情報が行き渡るような取組が必要です。



7-1 環境像について

現在の千葉市環境基本計画では望ましい都市の姿『豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまちへ』の実現のために、5つの項目（環境像）を設定しています。

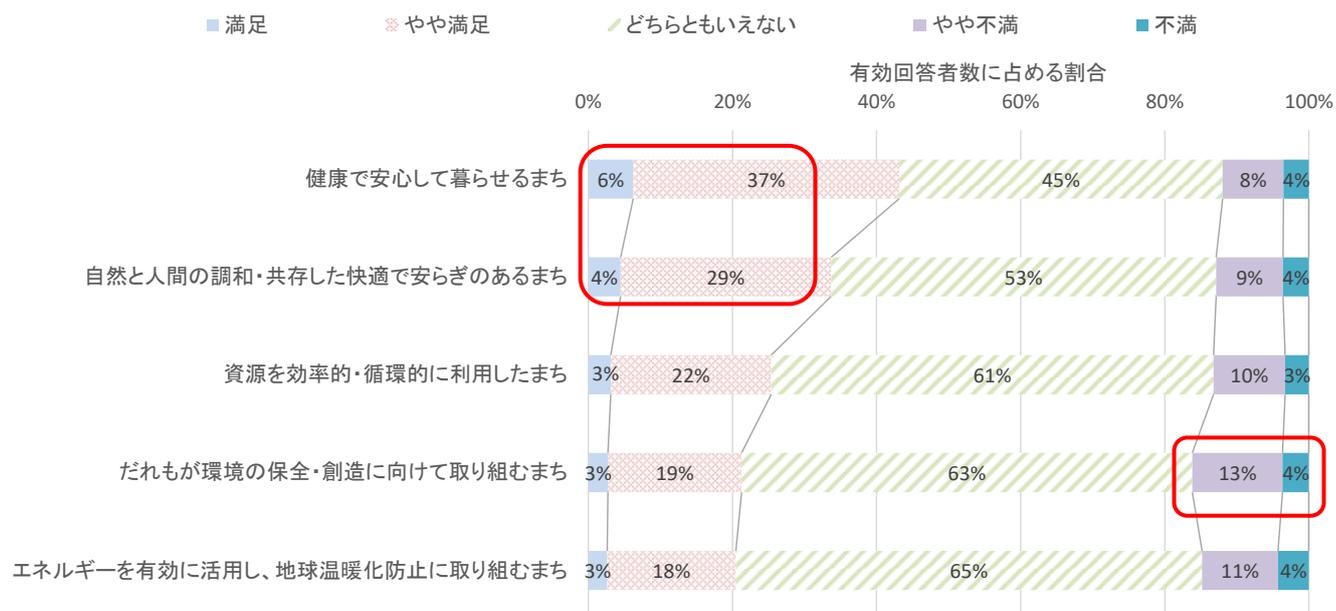
それぞれの環境像とお住いの地域の環境を比較してどのように感じていますか。項目ごと「達成度」及び「重要度」について最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。

【達成度：有効回答 2527～2534 人、無回答・無効 27～34 人
重要度：有効回答 2530～2534 人、無回答・無効 27～31 人】

<達成度の傾向>

- 全ての項目について「どちらともいえない」が40%以上を占める結果となりました。
- 「健康で安心して暮らせるまち」、「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎあるまち」については「満足」「やや満足」と回答した割合が30%以上となっています。
- 「不満」「やや不満」と回答した割合は全ての項目で低い割合ですが、「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」が17%となっており、他の項目に比べてやや高い割合となりました。

◆達成度

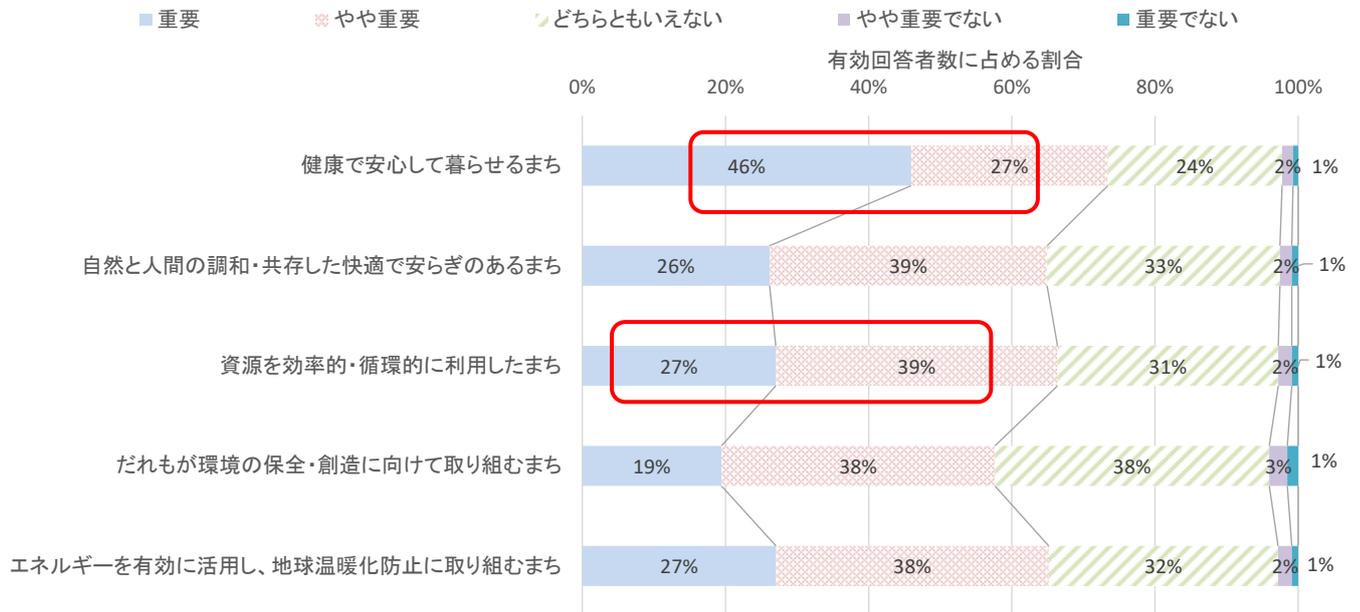


※満足・やや満足が高い割合順に掲載

<重要度の傾向>

- 全ての項目について「重要」「やや重要」が半数以上を占める結果となり、多くの市民が全ての環境像について重要であることを認識していることが伺えます。
- 「重要」「やや重要」と回答した割合が最も多かったのは、達成度と同様に「健康で安心して暮らせるまち」、次いで「資源を効率的・循環的に利用したまち」となりました。

◆重要度



※達成度と同じ順に掲載

【達成度×重要度のクロス集計※】

- 全ての項目について達成度も重要度も高い結果となっており、今後もすべての環境像の達成に取り組む必要があります。
- その中でも達成度と重要度が両方とも最も高くなったのが「4」となり、引き続き良好な環境を維持することが求められます。
- 一方で「1」「5」については達成度が比較的低い結果となっており、特に改善に向けて実効性の高い対策が求められます。

※クロス集計:設問と設問をかけあわせて集計する方法で、回答結果をより細分化して把握する集計手法。

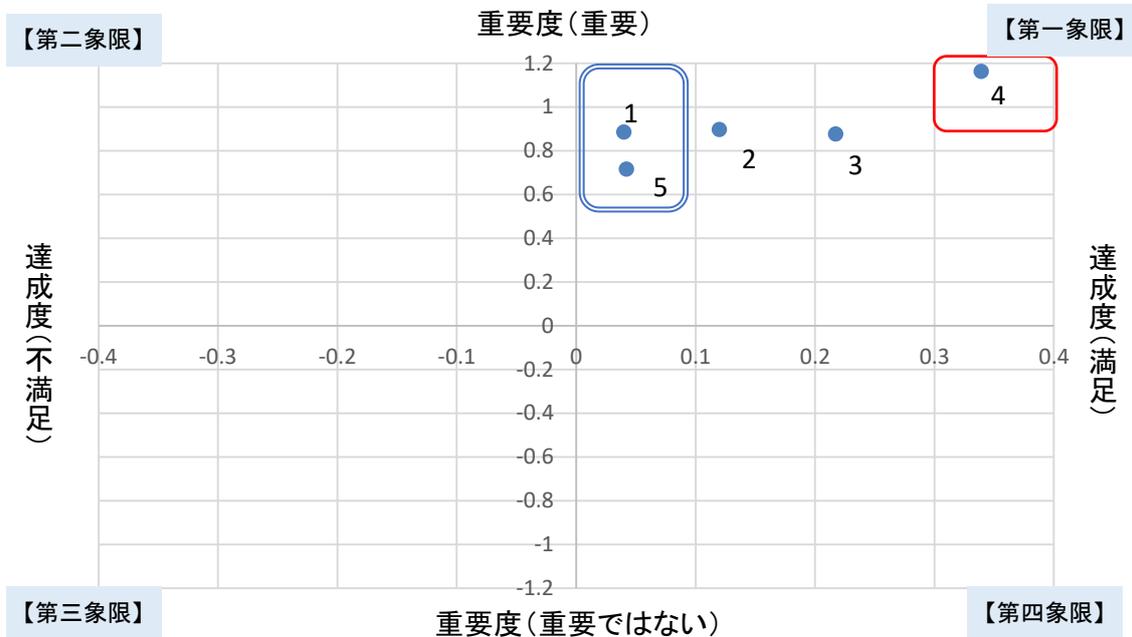
【クロス集計の考察(例)】※重要度と達成度のクロス集計の場合

第一象限:既に達成されているが重要度が高いため継続して取り組みが必要がある項目

第二象限:重要度が高いにもかかわらず達成度は低いので特に力を入れて改善を進める必要がある項目

第三象限:重要度が低いので優先順位が比較的低く改善は後回しでよい項目

第四象限:優先順位が低く既に達成されているので計画から削除を検討する項目



1 エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち

2 資源を効率的・循環的に利用したまち

3 自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち

4 健康で安心して暮らせるまち

5 だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち

【計算方法】

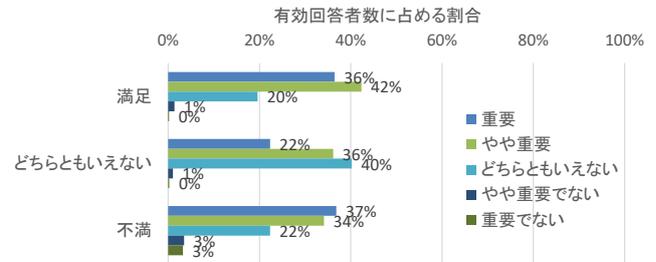
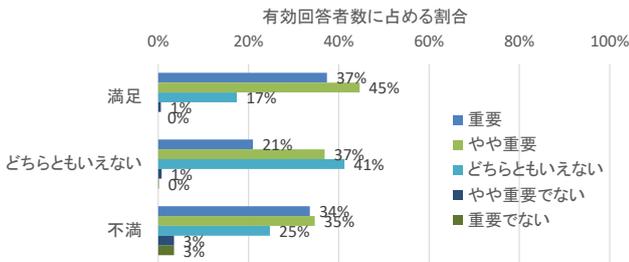
達成度・重要度に応じて配点し、選択肢ごとの回答数を乗算。それを有効回答数で除し、環境像ごとの達成度及び重要度について算出した。(大いに満足・とても重要:2点、やや満足・やや重要:1点、どちらともいえない:0点、やや不満足・あまり重要ではない:-1点、大いに不満足・重要でない:-2点)

【問7 環境像の達成度×問8 基本目標の重要度のクロス集計】

- 全ての項目で達成度の満足・不満足に関わらず、「重要」「やや重要」の割合が高い結果となりました。
- 他の項目と比べると、⑭有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する、⑮地下水・土壌等の安全を確保するについては、不満であるが「重要」と回答されている割合が高く、状況の改善のために特に取組が必要です。

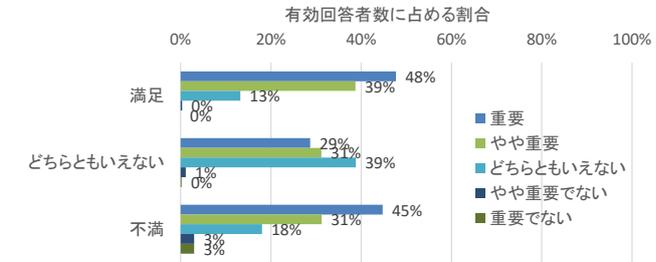
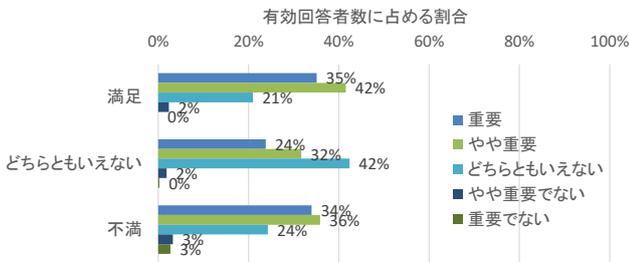
① エネルギーを環境に優しく利用する

② 再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用する



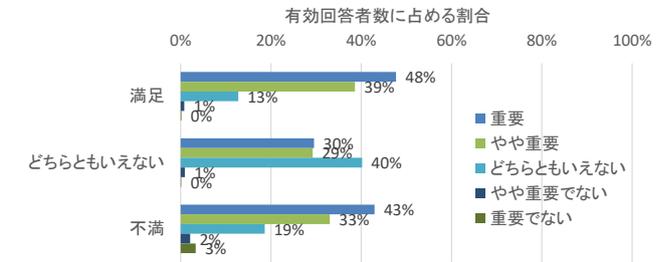
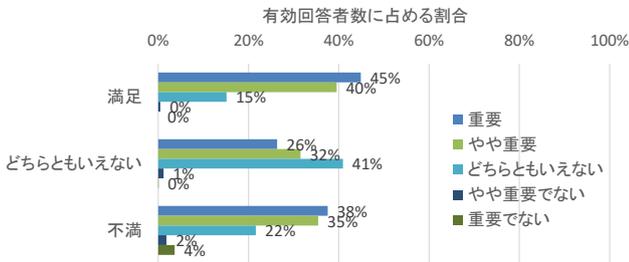
③ ヒートアイランド対策を推進する

④ 資源を大切に利用する



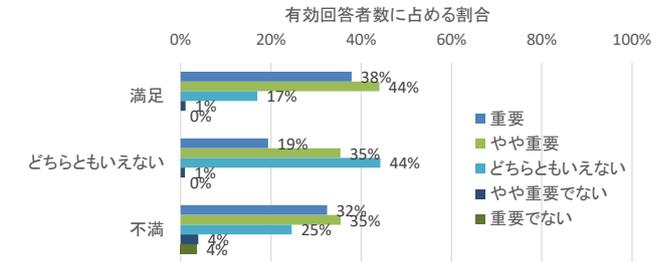
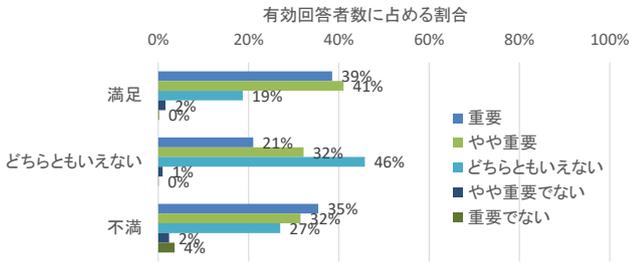
⑤ 廃棄物の発生を抑制する

⑥ 廃棄物を適正に処理する

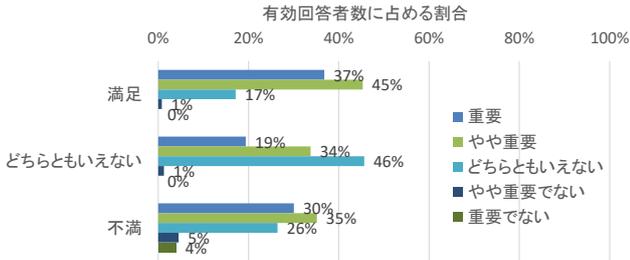


⑦ 豊かな生物多様性と健全な生態系を確保する

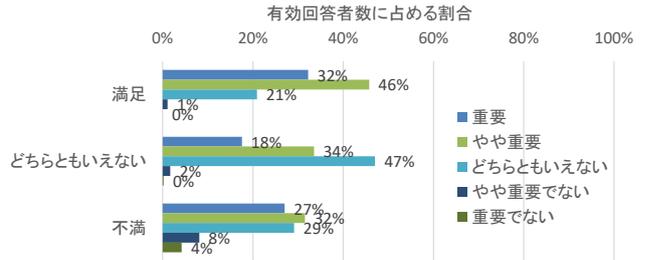
⑧ 豊かな緑と身近にふれあえる水辺を確保する



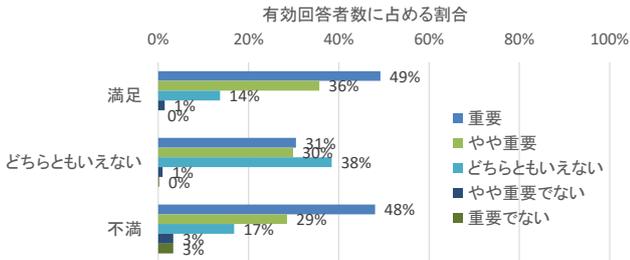
⑨良好な景観を保全・創造する



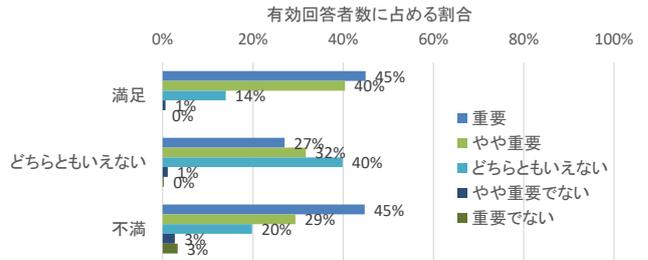
⑩自然とふれあう



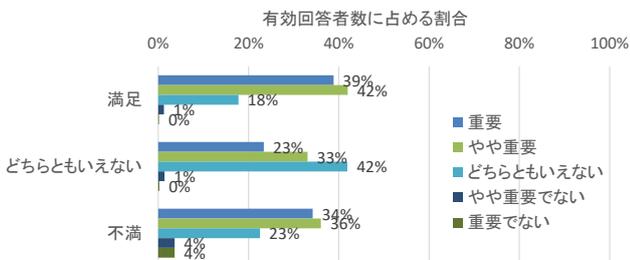
⑪空気のきれいさを確保する



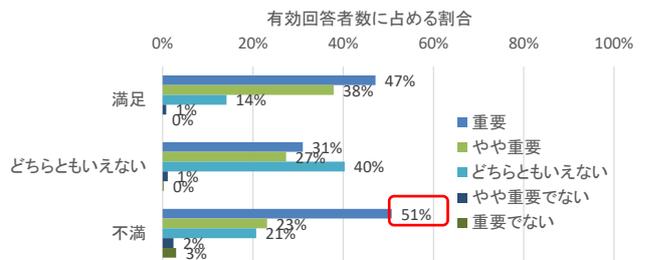
⑫川・海・池のきれいさを確保する



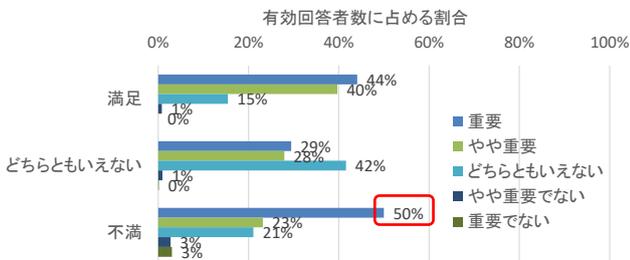
⑬まちの静けさやすがすがしさを確保する



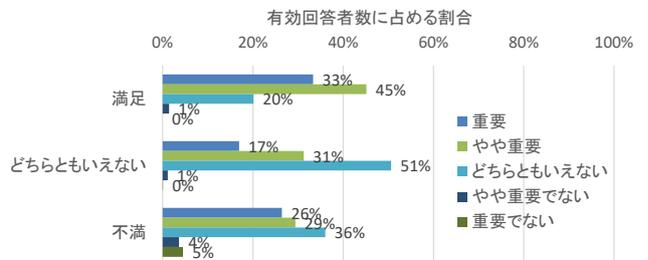
⑭有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する



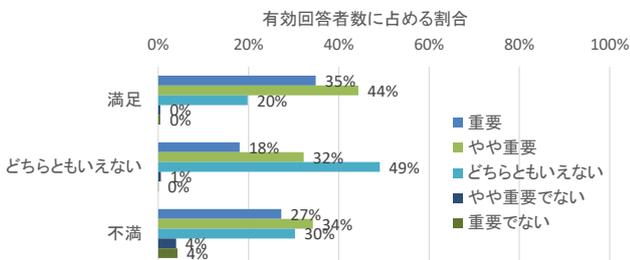
⑮地下水・土壌等の安全を確保する



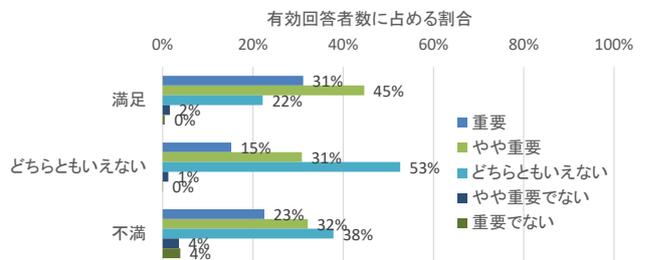
⑯環境保全・創造の意欲を増進する



⑰環境教育を推進する

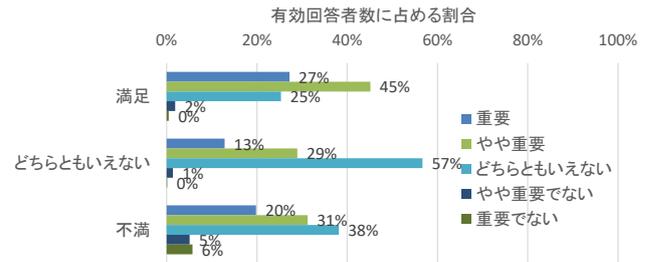
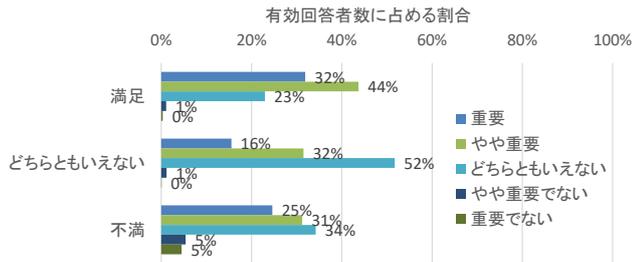


⑱市民、事業者、民間団体等との連携を推進する



⑱環境関連産業を育成し、技術開発を促進する

⑳地域間協力・国際協力を推進する



7-2 環境像について

7-1 にて達成度をそのように答えた理由を、それぞれの項目ごとに教えてください。 ※選んだ人のみ表示されるように設定

選択肢		主な理由
①	エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	<p><満足・重要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電を設置しているところが多い ・ゴミ焼却場の熱源を有効活用している ・環境問題は重要 ・自然が多いこのまちで実現したい ・異常気象の原因追及 <p><不満・重要でない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・効率が悪い ・活用されていない ・具体的に何をしているか分からない ・取り組んで意味があるか分からない
②	資源を効率的・循環的に利用したまち	<p><満足・重要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・無駄な廃棄を無くす取組が実施されている ・リサイクルやごみの分別がされている ・ごみ収集を有料化し財源に充てている ・リサイクルに積極的 ・資源が枯渇しないことが重要 ・ゴミをもっと削減したい ・ごみを少なくすることで環境に良く循環して過ごしやすくなる <p><不満・重要でない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・効果がなさそう ・余計にエネルギーを使う ・十分に対策が行われていない
③	自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	<p><満足・重要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・公園や緑が多く住みやすい ・空気が綺麗で住みよい ・自然に向き合って暮らす人々が多い ・住宅地のすぐそばに里山などの自然が豊富 ・自然にもっと触れたい ・今ある自然を残したい <p><不満・重要でない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間が自然を破壊している ・自然と人間が調和・共存する事は不可能 ・安らぎを感じない
④	健康で安心して暮らせるまち	<p><満足・重要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・空気がきれいで、公園が多く、町が明るい ・治安がよく安心して暮らせる ・治安の良い街に住みたい・病院や保健所、市役所などがしっかり整備されているので健康的な生活を不安なく送ることができる ・病院や保健所、市役所などがしっかり整備されているので健康的な生活を不安なく送ることができる ・市立や大学病院など増築され改良されている <p><不満・重要でない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・安心できない ・病院は多いが待ち時間が長い
⑤	だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	<p><満足・重要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・月に一度リサイクル品を集めるなどの活動がある ・一人一人が自分の家の周りをきれいに保とうとしている ・廃品回収など、積極的に行っているように感じる ・住民が皆この気持ちになる事を目指したい ・住民全員が意識して取り組まないと達成できない <p><不満・重要でない></p> <ul style="list-style-type: none"> ・一部の人間しか行っていない ・人間関係に希薄さを感じる ・どの様な方向性で環境の保全・創造に取り組んでいるのか分からない

8 基本目標の効果検証

7-1にてお示した5つの環境像の実現のため、20の項目（基本目標）を設定しています。基本目標ごとにあなたの居住する地域における「達成度」及び「重要度」について最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。居住する地域が該当しない項目については、千葉市全体を対象としてお考えください。

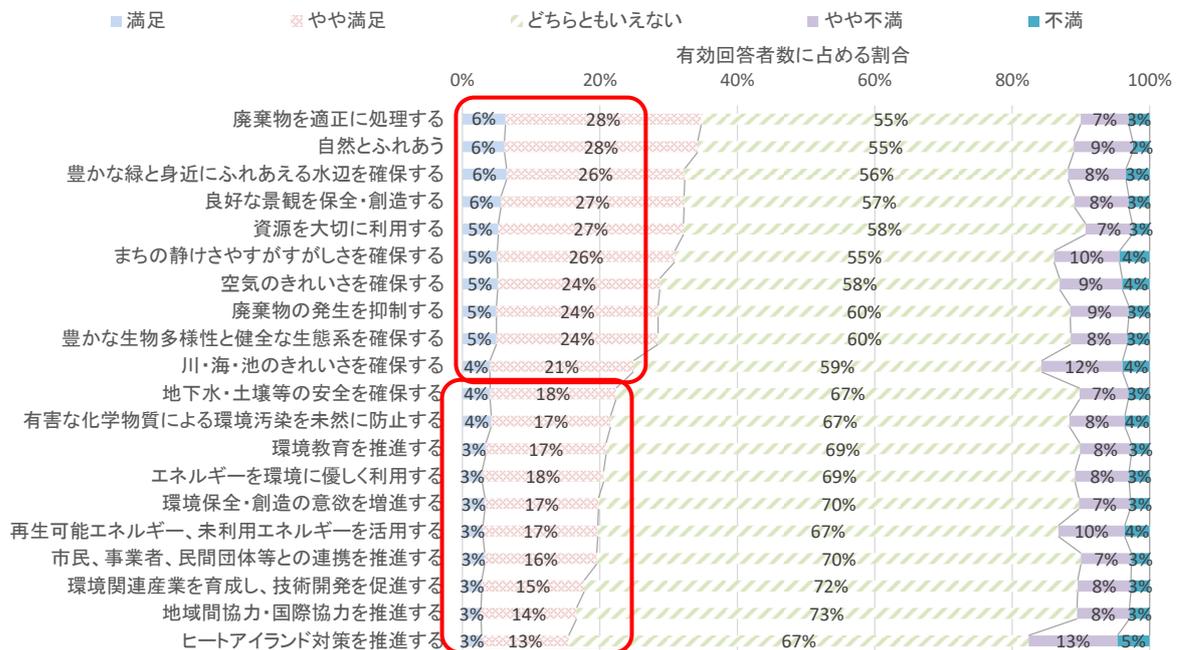
【達成度：有効回答 2499～2507 人、無回答・無効 54～62 人

重要度：有効回答 2507～2514 人、無回答・無効 47～54 人】

<達成度の傾向>

- 達成度については全ての項目で半数以上が「どちらともいえない」と回答しています。
- 廃棄物や資源に関する項目、自然や生態系に関する項目、生活環境に関する項目（地下水・土壌の安全と化学物質以外）は「満足」「やや満足」の割合が約 30%より大きくなっていますが、教育や協働、エネルギーに関する項目は比較的割合が低くなっています。ごみの問題や市民に身近な自然について満足度が高いと考えられます。
- 最も「やや不満」「不満」の割合が高いのは「ヒートアイランド対策を推進する」で 18%ですが、「満足」「やや満足」の割合も 16%となっており、拮抗しています。
- 問7-1の環境像の達成度の傾向と同様に、生活環境、自然、資源に関する項目の達成度が高く、エネルギーや誰もが環境保全に取り組むといった項目の達成度が低い結果となりました。

◆達成度

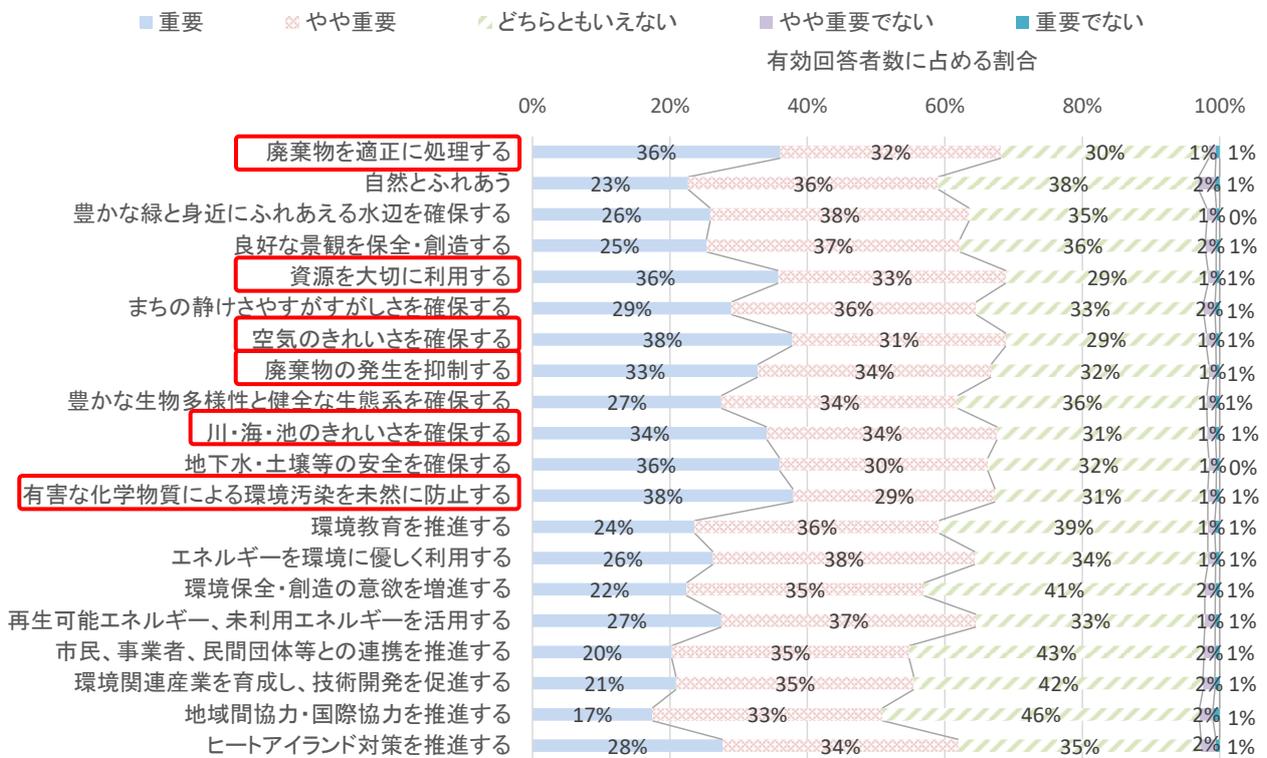


※満足・やや満足が高い割合順に掲載

<重要度の傾向>

- 全ての取組において「やや重要でない」「重要でない」の割合が低く、環境像と同様に多くの市民が全ての基本目標について重要であることを認識していることが伺えます。
- 最も「重要」「やや重要」の割合が高いのは「空気のきれいさを確保する」「資源を大切に利用する」で69%、次いで「廃棄物を適正に処理する」「川・海・池のきれいさを確保する」が68%、「廃棄物の発生を抑制する」「有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する」が67%となりました。問7-1の環境像と同様に、生活環境と資源に関する項目を重要視していることが分かります。
- 達成度で最も「やや不満」「不満」の割合が高かった「ヒートアイランド対策を推進する」の「重要」「やや重要」の割合は62%となっており、達成度が低い、重要な取組であると市民が認識していることが分かります。

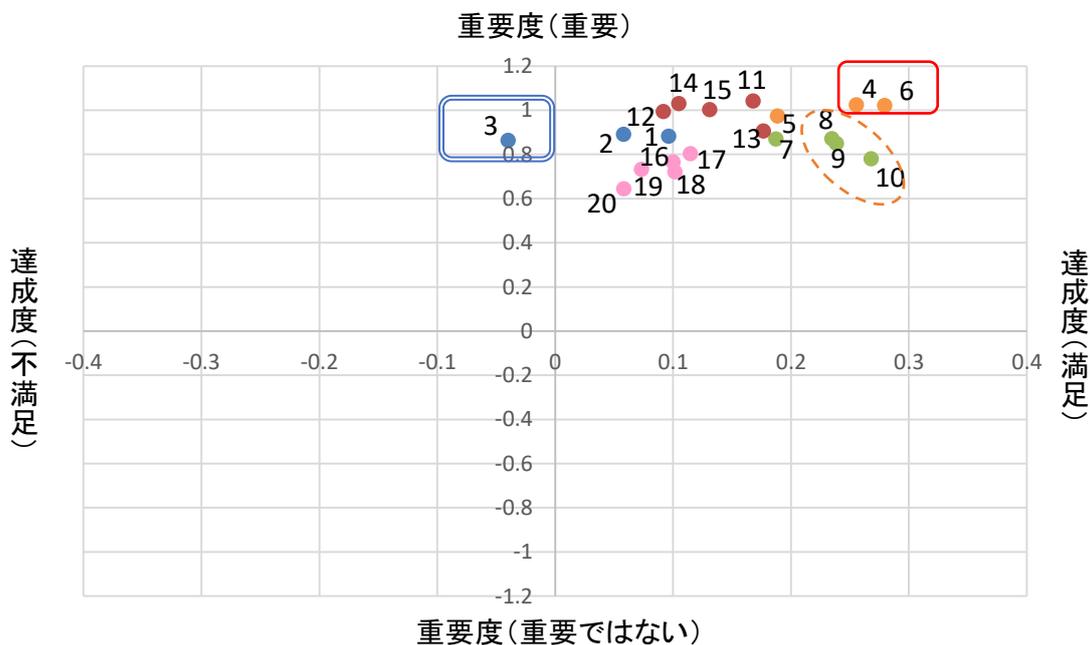
◆重要度



※達成度と同じ順に掲載

【達成度×重要度のクロス集計】

- 全ての項目について重要度が高い結果となっており、すべての項目について施策を検討する必要があります。
- その中でも「4」「6」については、特に達成度も重要度も高く評価されており、取組を重点的に行うことが求められます。
- 「8」「9」「10」については達成度が高いですが、市民の日常生活に大きくかかわる生活環境の項目であり、恒常的に取り組む必要があります。
- 「3」については、達成度が比較的低いことから、特に改善に向けた実効性の高い対策が求められます。



- | | |
|-------------------------|---------------------------|
| 1 エネルギーを環境に優しく利用する | 2 再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用する |
| 3 ヒートアイランド対策を推進する | 4 資源を大切に利用する |
| 5 廃棄物の発生を抑制する | 6 廃棄物を適正に処理する |
| 7 豊かな生物多様性と健全な生態系を確保する | 8 豊かな緑と身近にふれあえる水辺を確保する |
| 9 良好な景観を保全・創造する | 10 自然とふれあう |
| 11 空気のきれいさを確保する | 12 川・海・池のきれいさを確保する |
| 13 まちの静けさやすがすがしさを確保する | 14 有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する |
| 15 地下水・土壌等の安全を確保する | 16 環境保全・創造の意欲を増進する |
| 17 環境教育を推進する | 18 市民、事業者、民間団体等との連携を推進する |
| 19 環境関連産業を育成し、技術開発を促進する | 20 地域間協力・国際協力を推進する |

※計算方法

達成度・重要度に応じて配点し、選択肢ごとの回答数を乗算。それを有効回答数で除し、環境像ごとの達成度及び重要度について算出した。(大いに満足・とても重要:2点、やや満足・やや重要:1点、どちらともいえない:0点、やや不満足・あまり重要ではない:-1点、大いに不満足・重要でない:-2点)

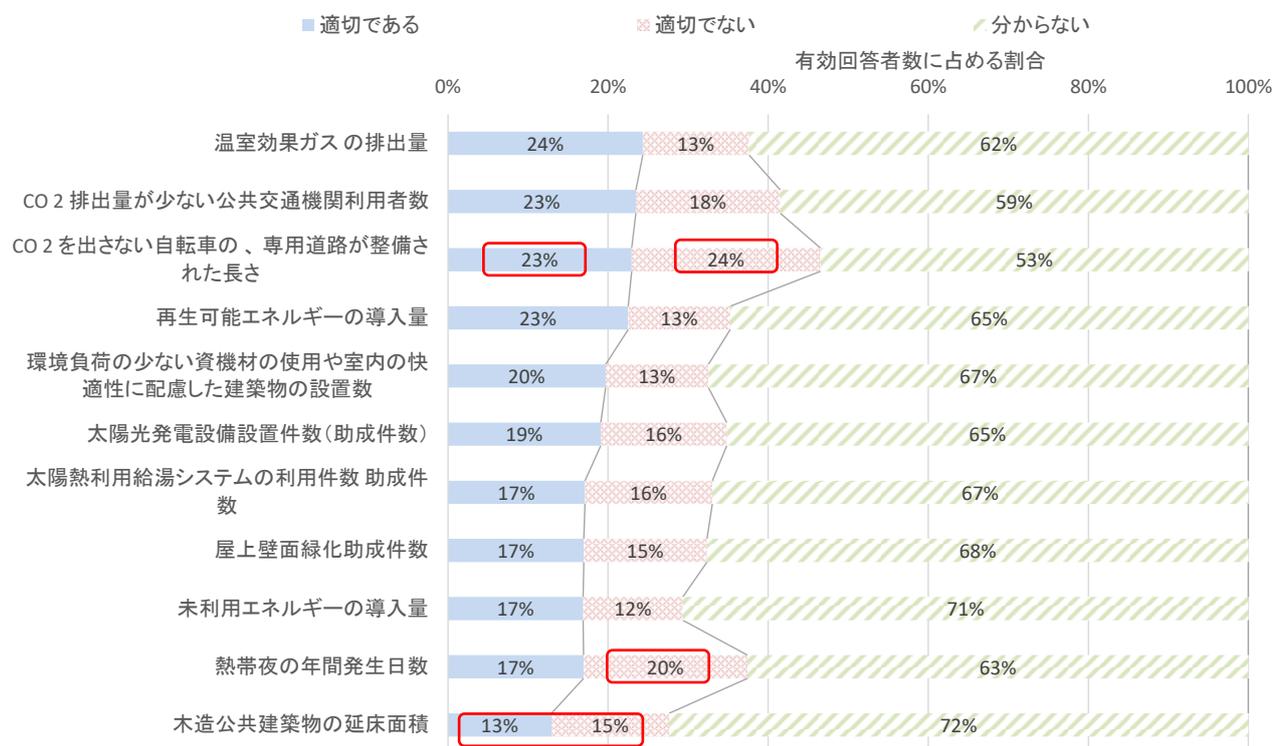
9-1 指標の効果検証 1

千葉市環境基本計画では5つの環境像の実現の達成度をはかるため、それぞれの環境像ごとに指標を設けています。環境像①「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

【有効回答 2520~2561 人、無回答・無効 37~41 人】

<全体傾向>

- 全ての項目で「分からない」が半数以上を占めています。また、ほぼ全ての項目で「適切である」割合が約20%となっています。
- 一方でCO₂を出さない自転車の専用道路が整備された長さについては、「適切でない」という割合が最も高く20%を超えており、「適切である」と考える割合と同じ割合です。
- 「適切でない」割合が高かった自転車の専用道路が整備された長さや熱帯夜の年間発生数、「適切である」と「適切でない」の割合が拮抗している木造公共建築物の延床面積については、「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」の対策としてとして関与しづらい(イメージを抱きにくい)と推測されます。



※適切であるが高い割合順に掲載

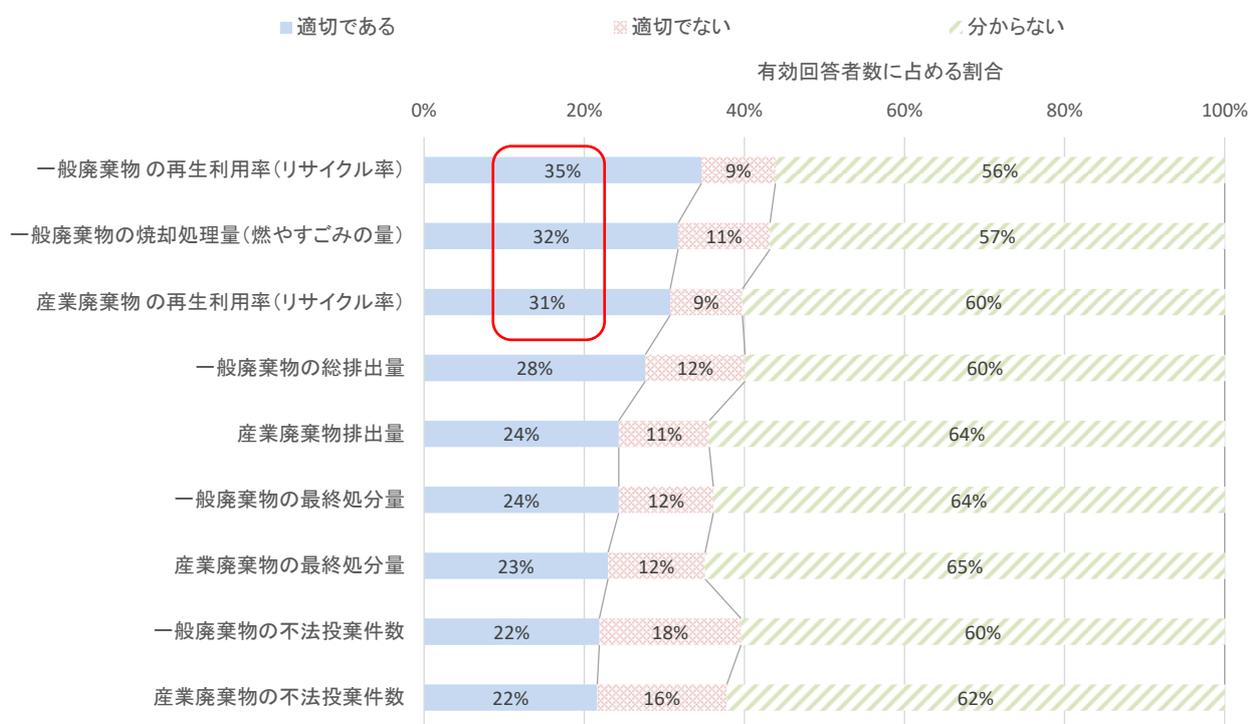
9-2 指標の効果検証 2

環境像②「資源を効率的・循環的に利用したまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

【有効回答 2516~2522 人、無回答・無効 39~45 人】

<全体傾向>

- 全ての項目で「分からない」が半数以上を占める結果となりました。
- 「適切である」割合が高かったのが一般廃棄物の再生利用率(リサイクル率)、一般廃棄物の焼却処理量(燃やすごみの量)、産業廃棄物の再生利用率(リサイクル率)で30%以上となっています。
- 「適切でない」割合は全ての項目で低い割合ですが、不法投棄件数について比較的高くなっています。



※適切であるが高い割合順に掲載

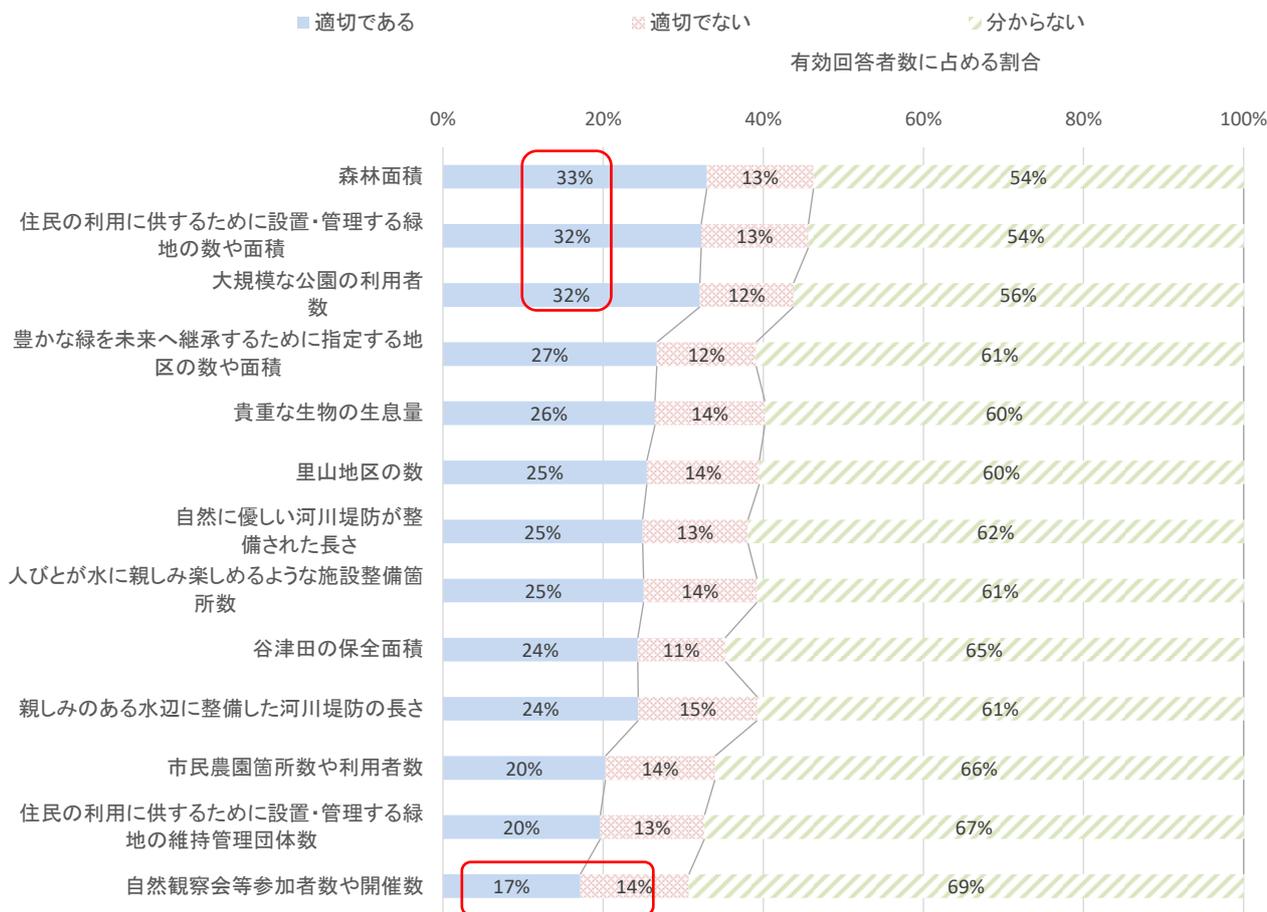
9-3 指標の効果検証3

環境像③「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

【有効回答 2517~2561 人、無回答・無効 38~44 人】

<全体傾向>

- 全ての項目で「分からない」が半数以上を占める結果となりました。
- 「適切である」割合が高かったのが森林面積、住民の利用に供するために設置・管理する緑地の数や面積、大規模な公園の利用者数で30%以上となっています。
- 自然観察会等参加者数や開催数については「適切である」と「適切でない」の割合が拮抗しており、「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち」の対策による成果(環境像への関連性)について理解されていない可能性があります。



※適切であるが高い割合順に掲載

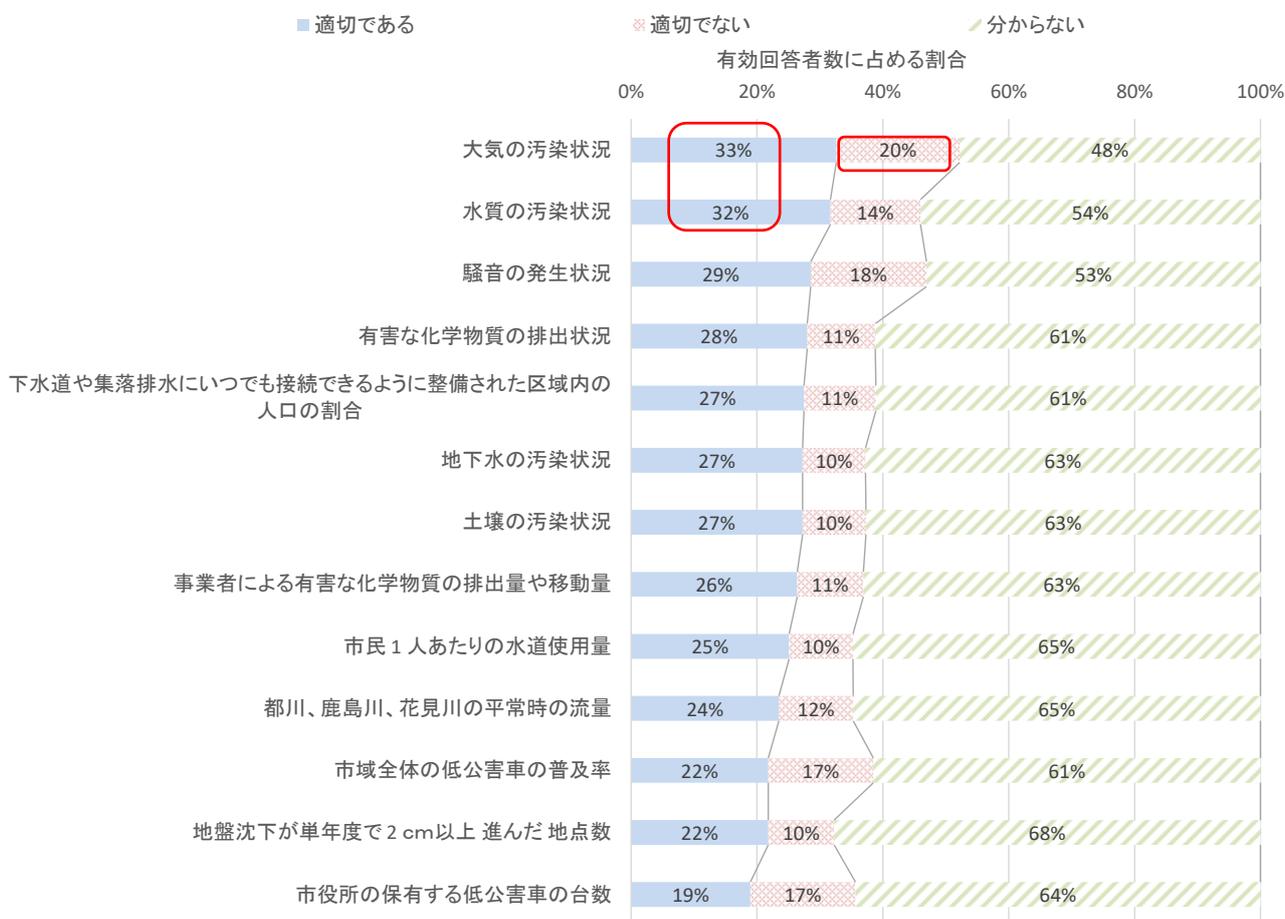
9-4 指標の効果検証 4

環境像④「健康で安心して暮らせるまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

【有効回答 2516～2524 人、無回答・無効 37～45 人】

<全体傾向>

- 全ての項目で「分からない」が約半数より多くを占める結果となりました。
- 「適切である」割合が高かったのが大気・水質の汚染状況で 30%以上となっています。一方で、大気・水質の汚染状況は「適切でない」の割合も高く 20%となっています。



※適切であるが高い割合順に掲載

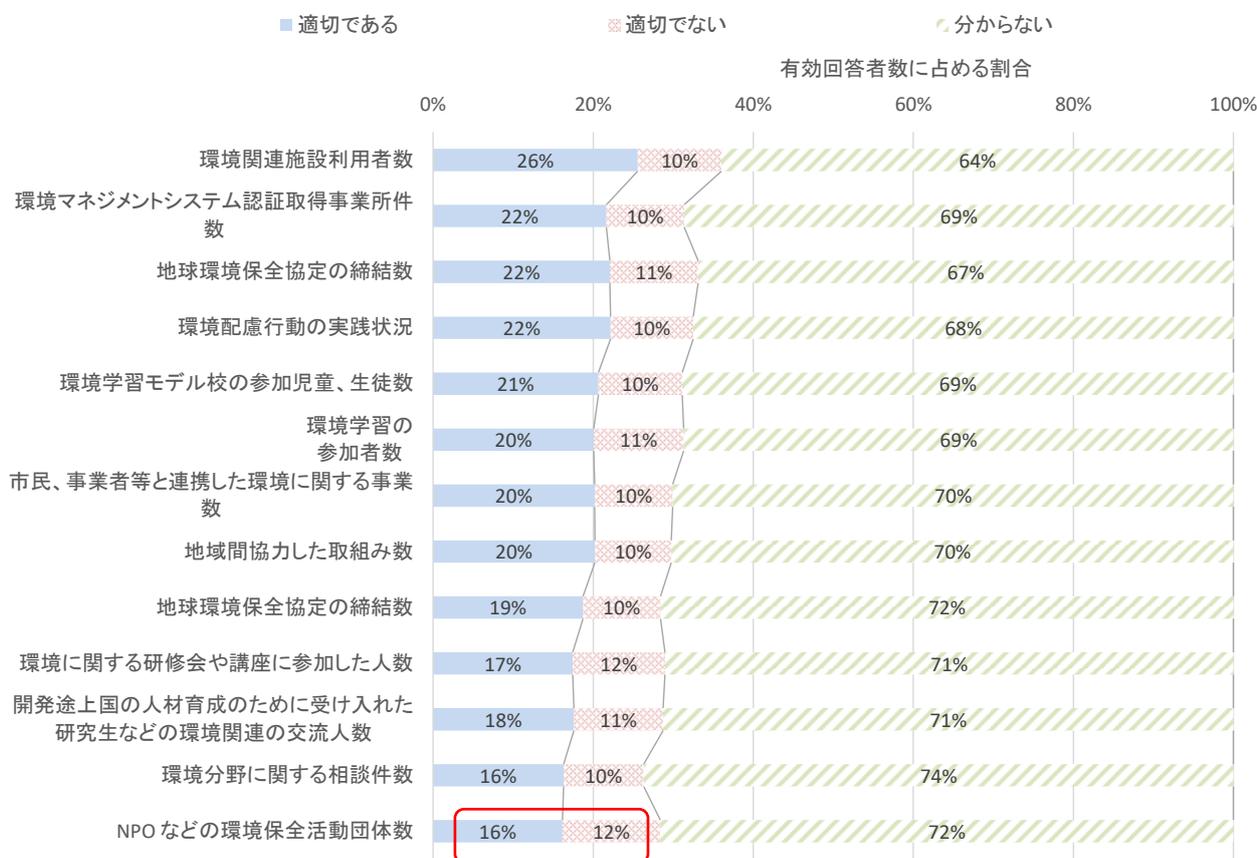
9-5 指標の効果検証5

環境像⑤「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

【有効回答 2515~2519 人、無回答・無効 42~46 人】

<全体傾向>

- 全ての項目で「分からない」が約半数より多くを占め、「適切である」割合が約 20%となっています。
- NPO などの環境保全活動団体数については「適切である」と「適切でない」の割合が拮抗しており、「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」の指標としてイメージを抱きにくいと推測されます。



※適切であるが高い割合順に掲載

10 望ましい環境都市の姿について

10年後、20年後を見据えて、将来の千葉市の環境はどうなっていると思いますか・どうあってほしいですか。ご自由にご記入ください。

【あって欲しい未来の姿・その理由など】

<全体傾向>

- 環境像に関連する言葉の中で、抽出したキーワードとして多かったのは環境像③「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち」に関わる言葉で、特に緑や自然の豊かさやに関する内容でした。多くの市民が、本市の豊かな自然を残した姿を将来の千葉市の環境として望んでいることが伺えます。
- また、環境像には関わらない「その他」の中で、未来を連想させる子どもや、豊かなや住みやすいなど暮らしの質の向上を望むような言葉が多く抽出されました。

【参考】アンケート結果から抽出した環境像のキーワード

環境像①「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」

■地球温暖化対策の取組

抽出されるキーワード	件数
地球温暖化	13
再生可能エネルギー	8
太陽光	6
自然エネルギー	5
持続可能な	4
二酸化炭素	3
水素	2
グリーンエネルギー	2

■公共交通機関

抽出されるキーワード	件数
モルールの延長※	10
モルールの運賃や営業時間の改善	4
モルールの不要※	2
渋滞	15
交通事故	7
自動運転	6
交通機関の充実	5
交通の便が良い	3
交通インフラ	3
交通の便利さ	2

※アンケート結果を集約・編集して掲載した言葉

環境像②「資源を効率的・循環的に利用したまち」

■廃棄物

抽出されるキーワード	件数
不法投棄	10
ポイ捨て	6
リサイクル	4
ゴミのない	3
ゴミが落ちていない	2
クリーンな街	2
循環型社会	2

環境像③「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち」

■自然との共生

抽出されるキーワード	件数
自然と共存	20
調和のとれた	7
自然と調和	7
自然との共生	6
自然との調和	6
人と自然の調和	3
自然と人間の共存	3
自然と都市の融合	2
人と自然が共存	2
自然・しぜん※	442

※他の「自然」を使用した言葉を含む

■自然の維持

抽出されるキーワード	件数
自然を残し	13
自然保護	4
自然を残して	3
自然環境を維持	2
自然環境のよい	2

■環境への優しさ

抽出されるキーワード	件数
環境に優しい	17
地球環境に優しい	3
自然を大事	2

■自然が豊かさ

抽出されるキーワード	件数
自然豊か	50
緑豊か	44
緑地	19
豊かな自然	18
緑の多い	15
自然が豊か	14
里山	12
自然がある	8
豊かな環境	5
自然が増えて	5
自然が多く	5
自然の多い	3
自然を大切に	3
自然に囲まれた	3
堂	3
緑の多い環境	2
自然環境に恵まれ	2

■緑の多さ

抽出されるキーワード	件数
緑が多く	16
緑が多い	7
緑あふれる	3
緑が溢れ	2
自然と触れ合える	2
緑・みどり※	183

※他の「緑」を使用した言葉を含む

環境像④「健康で安心して暮らせるまち」

■ 空気のきれいさ

抽出されるキーワード	件数
空気がきれい	25
空気が綺麗	13
大気汚染	12
空気のきれいな	9
空気の綺麗	4
光化学スモッグ	4

■ 安心して暮らせる街

抽出されるキーワード	件数
安心して暮らせる	38
安心して住める	18
安全な街	16
安心安全	14
安全に暮らせる	13
事故	12
平和	11
安全な都市	3
治安の良い	3
治安が良く	3
安心な町	2
事件	2

■ 海や川の綺麗さ

抽出されるキーワード	件数
海が綺麗	8
きれいな海	8
海がきれい	7
綺麗な海	4
水質が良く	3
川や海の水質	3
川が綺麗	2
海辺の環境を整備	2
水辺がきれい	2
きれいな海、川	2
きれいな水辺	2
きれいな川	2
綺麗な水	2

■ 騒音

抽出されるキーワード	件数
静か	29
騒音の少ない	3

■ 公害

抽出されるキーワード	件数
公害のない	3
公害の少ない	3
汚染のない	2

環境像⑤「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」

■ 協働や教育

抽出されるキーワード	件数
みんな	17
教育	7
マナー	4
協力	3
助け合って	2

全般

■便利で住みやすい街

抽出されるキーワード	件数
住みやすい	90
暮らしやすい	23
生活しやすい	11
便利な街	11
住みたい	10
住みよい	6
すみやすい	5
生活の利便性	4
便利な都市	3
住み続けたい	2

■経済・社会・文化

抽出されるキーワード	件数
経済と環境のバランス※	12
経済の発展・継続※	4
インフラ	9
コロナを乗り越える・負けない※	6
コロナでの変化への対応※	2
商業施設	7
税金の有効利用※	4
税金の低減※	3
文化の形成・文化的な生活※	4
経済・自然・文化の調和※	3

※アンケート結果を集約・編集して掲載した言葉

■災害

抽出されるキーワード	件数
災害に強い	22
地震	12
災害のない	5
災害の少ない	5
災害に強く	4
災害に対応できる	2
災害が少ない	2
天災に強い	2
災害がない	2

■きれいな街

抽出されるキーワード	件数
きれいな街	23
綺麗な街	21
美しい町	2
綺麗な街並み	2

■子供と高齢者

抽出されるキーワード	件数
子供・子ども	101
高齢者・お年寄り	55
子育て	14
若い世代	5
次世代	5

■その他

抽出されるキーワード	件数
豊かな※	87
豊かさ	3
都会	17
住宅地	9
未来都市	3
自慢できる	2
地産地消	2
健康	33
健やか	2
医療	11
快適	23
優しい・やさしい	69
未来・みらい	46
皆・みんな	29
穏やか	13
活気	12
明るい	9
楽しく	4
害虫	3
野良猫	3
野鳥	3
カラス	2
観光	5
外国人	4
バランス	13
ストレス	6
残す	5
人工的	5
誇	4
エコ	4

※「豊かな自然」「豊かな環境」を含む

【未来の姿を実現するために必要なこと】

＜全体傾向＞

- 未来の姿を実現するために必要なこととしては、全ての分野で多くの意見をいただき、全ての分野で様々な取組が望まれていることが伺えます。
- 地球温暖化に関する内容では再生可能エネルギーの導入促進や、自転車や公共交通の利用に対する意見等が寄せられました。
- 資源の利用については、ポイ捨てや不法投棄に関する内容が多くなりました。
- 快適でやすらぎのあるまちについては、緑や自然を大切にすること、公園の整備に関してご意見をいただきました。
- 健康に暮らせるまちについては、大気環境や河川・海の水質保持、騒音への対応についての意見が寄せられました。
- 環境保全・創造への取組については、市民1人1人の意識向上などについて意見が挙がりました。

分類 (目指す環境像ごとに 関連する内容)	主なご意見
エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> ・化石燃料の消費を削減。 ・工場などの温室効果ガスを低減。 ・CO2削減などの地球温暖化対策。 ・温暖化を正しく理解し、温暖化を防止。 ・エネルギー使用量の削減、省エネの推進。(エアコンの温度設定等) ・火力発電から自然エネルギー等を中心にした電源構成。 ・再生可能エネルギー(太陽光発電や風力発電、地熱発電等)のさらなる普及と市民の意識。 ・風が強い地域なので、マイクロ風力発電をビルに設置する。 ・再生可能エネルギーを活用した都市開発、導入促進策の検討。 ・再生可能エネルギー生産する企業の育成。 ・新エネルギー開発。 ・太陽光パネルの取り付け促進発電技術の向上。 ・蓄電池の改良。 ・再生可能エネルギーの導入補助。 ・市内の各家庭からの再生可能エネルギーの買い取り額の補助実施。 ・エコカー補助金の活用。 ・豊かさ利便さを多少犠牲にしても、再生可能エネルギー利用した生活スタイルを標準とする。 ・狭い道でも、自転車や歩行者がガードレール内を通れるように整備。 ・自転車道の整備、レーンの充実。 ・自転車利用者の意識やマナーの向上を促す条例。 ・公共交通(バスやモノレール)の無料化。 ・市内循環公共機関(モノレール、バス等)の整備。 ・電車の見直しや時差通勤推奨。 ・地下鉄等を含めた交通網の整備。

	<ul style="list-style-type: none"> ・モノレールの見直しと代替交通手段の検討。 ・モノレールの整備と拡充、延伸。 ・モノレール廃止。 ・路面電車を通して欲しい。 ・カーシェア利用の推進、整備。 ・自動運転EV車による高齢者の活動支援（市がサービスを実施）。 ・公共交通の整備、バスだけでなく新交通システムを導入する。 ・公共交通の便数増設。
<p>資源を効率的・循環的に利用したまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人がゴミの分別を意識。リサイクル意識の定着。 ・ゴミを削減に対し、多くの人が真剣に向き合う。 ・個人個人がゴミや油などの排出を適切に行う。 ・家庭レベルでのリサイクルの徹底。家庭ゴミ排出量の削減、助成。 ・リサイクル可能な物への代替。 ・マイクロプラスチックの増加を抑止する製品の積極的使用。 ・プラスチック製品の高税金化。 ・資源ゴミのリサイクル徹底。 ・あらゆる廃棄物の適切な処理。 ・ペーパーレス化の推進。 ・コンクリート中心でなく、自然と調和する街づくり。 ・スウェーデンのように、買い物ではガラス製容器やタッパーを持参。 ・環境に配慮した商品（リサイクル可能な製品など）の購入。 ・エコ活動の推進、教育現場でのエコ活動の必要性の指導。 ・ゴミ捨て場に監視カメラ設置。 ・不法投棄の監視、取締り強化 ・不法回収業者や不法投棄の厳罰化。 ・ごみのポイ捨て厳罰化。 ・ポイ捨て禁止と路上喫煙禁止。 ・ごみをポイ捨てさせない仕組み。 ・観光客のゴミを捨て問題への取組み。 ・ごみのポイ捨て取り締まりの強化、過料は街の清掃、修復費の一部に充てる。 ・ゴミ拾いなどのボランティア活動に住民が積極的に取組む。 ・海へのゴミ捨て取締り。 ・フードロス対策。 ・食品ロスの最小化、地産地消の推進。 ・食品ロス対策として家庭での買い過ぎを防止。 ・スーパーにおいて、賞味期限間近商品を売り切る工夫。 ・ごみ搬送システムの導入。
<p>自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープを作る。 ・生物多様性に影響を与えるような事業を執行しない。 ・空気をきれいにする植物や木々の植樹。 ・緑を残すためのボランティア活動。 ・緑を大事にする、自然環境の破壊を防ぐ。 ・自然回復、街開発と自然保護の両立。 ・千葉駅周辺、都市部への緑化対策。 ・都市計画を見直し、緑地面積を倍増させる。 ・森林伐採を適切に行う、森林整備、有効活用、補助金の交付。 ・子里山の地権者、管理者への報酬、里山の地稅軽減。

	<ul style="list-style-type: none"> ・里山の再生にボランティアを活用、管理者の養成。 ・子供たちの植林体験。 ・遊休地・耕作放棄地や空き地の再利用、活用、整備、補助。 ・公園など自然の溢れる場所を増やす。 ・空き地を残し、そこに動植物を増やし見られるようにする。 ・公園や緑地をつぶしてマンションを建てない。 ・森林保全のため、建物新築への審査・制限。 ・ミニ開発など全く緑のない住宅や違法建築が多いため、取締りを強化。 ・百年建築など建築物の耐用年数・使用年数を倍増させる。 ・新築住宅には空き家や空き地を活用し、森や山を無駄に造成しない。 ・住宅地と緑が一体となるようにし、山林を維持して災害を防ぐ。 ・緑地率による商業施設への減税、廃業施設の再生化、緑地化。 ・自然公園の整備、区ごと町ごとに大型公園を整備。 ・公園など自然と触れ合える場の確保。屋上に公園などを設置するなどの整備。 ・自然景観を損ねない、水辺に小道の造設、郊外の環境を大事にする。 ・街路樹の整備、電柱への支障をなくした防災対策。 ・公園や気軽に体験できる農園など、自然を大切にする施設の建設。
健康で安心して暮らせるまち	<ul style="list-style-type: none"> ・排気ガスの規制、抑制、大気汚染の防止。 ・排気ガス、工場からの排煙問題への取組、推進する企業への助成。 ・下水に油や廃水を流さない、汚水対策。 ・排水溝、下水管の整備。 ・河川の水質管理、改善。 ・海岸と港をきれいに整備。 ・海岸の整備と河川護岸の整備。 ・水質検査の実施、排水管理。 ・下水道の整備と管理、市街化調整区域の常なる見直し。 ・水辺の環境整備、河川の清掃。 ・海辺の清掃イベントにより、民間企業との協働を推進。 ・川清掃などの地域参加型のボランティア活動。 ・主要河川（都川・鹿島川・花見川）に非常時の地下式の迂回水路または貯水池を建設。 ・騒音の厳罰化。 ・工場への騒音対策。 ・駅前のパチンコ店の排除。 ・騒音問題は重要だが、楽器も楽しみたい。 ・地質調査危険建築物の調査保全。 ・公園のトイレ改修工事。 ・快適な学校空間。 ・歩きたばこの禁止。
だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	<ul style="list-style-type: none"> ・環境問題に興味を持ってもらう ・一人一人が環境について考えて行動する（意識改革）。 ・市民の環境保全に関心を高めるためのセミナーの開催。 ・スーパーにはエコバッグを持っていくなどの意識改革。 ・個人がやるべき清掃、地区毎の回覧板を継続する。 ・市民一人一人の行動指針の設定 ・理念と信念をもったリーダーの育成。 ・モラルとマナーの向上、外国人に対しての教育。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民が参加して自然環境を保全する活動 ・ 環境への協力の呼びかけ、ポイントなどの特典。 ・ 企業の取り組みや意識改革。 ・ 自治会や企業を通じた啓発。 ・ 産業への規制強化。 ・ 工場等の事業者への取締り強化。 ・ 積極的に民間の力を活用。 ・ 国、自治体、企業が協力して取り組む。 ・ 高齢者の参加、協力が可能な環境対策事業を増やす。 ・ 市民にアンケートを頻繁に行い、積極的な問題点を掘り起こし。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 三輪電動アシスト車に配慮した道路整備（段差など）。 ・ 高齢者が暮らしやすいインフラ整備。 ・ 歩道の拡張や段差の解消。 ・ バイク規制。 ・ 渋滞の解消。 ・ 交通網の整備（自動車の減少）海浜環境の整備。 ・ 市内への車流入量の規制。 ・ 道路の整備、トンネル冠水対策など。 ・ 遅れに遅れている海沿いの開発。 ・ 廃校になった学校敷地を有効活用。 ・ 災害時への対策。 ・ IoT や情報インフラの推進の助成金や先進的なモデル都市等で実証実験。 ・ 地域開発と自然環境のバランス及びICT活用。 ・ 沿岸地盤強化。 ・ 避難所の整備、河川の氾濫防止、地震対策。 ・ 工場からの汚染を減らすための技術の向上。

1-3 アンケート調査結果

市民の環境に対する意識や環境保全活動の取組状況については、基礎調査の結果と併せて、環境像、基本目標、指標及び施策の検討に反映します。

【環境像の評価】

環境像の達成度については、「健康で安心して暮らせるまち」、「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎあるまち」、「資源を効率的・循環的に利用したまち」、「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」、「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」の順に達成度が高くなりました。

最も達成度が高かった「健康で安心して暮らせるまち」を選んだ理由として、空気がきれいで、公園が多く、町が明るい治安がよく安心して暮らせるなどの意見が挙がっています。また、不満・やや不満の割合が最も多かった「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」について、主な意見として一部の人間しか行っていない、人間関係に希薄さを感じるなどが挙げられました。

重要度は、全ての環境像で市民の半数以上が重要・やや重要と回答しており、多くの市民が全ての環境像について重要であることを認識していることが伺えます。

【基本目標の効果検証】

基本目標については、環境像の達成度の傾向と同様に、生活環境、自然環境、資源の循環利用に関する項目の達成度が高く、エネルギーや誰もが環境保全に取り組むといった項目の達成度が低い結果となりました。

重要度については全ての取組においてやや重要でない・重要でないの割合が低く、達成度と同じく環境像と同様の傾向となりました。

【キーワード、自由記述】

あってほしい未来の姿から抽出した環境像に関連する言葉の中で多かったのは特に緑や自然の豊かさやに関する内容でした。また、未来を連想させる子どもや、豊かなや住みやすいなど暮らしの質の向上を望むような言葉も多く抽出されました。未来の姿を実現するために必要なこととしては、全ての分野で多くの意見をいただき、全ての分野で様々な取組が望まれていることが伺えます。

⇒環境像や基本目標の重要度、キーワード、自由意見の内容を踏まえて、環境像や基本目標のフレーズに反映します。また、環境像や基本目標の達成度と重要度については施策と事業内容の方向性に反映します。

【指標の効果検証】

指標については、全ての項目で分からないと回答した市民が半数以上を占めています。

ほぼすべての項目で適切であるとの回答が適切でないを上回っており、現計画で設定されている指標について概ね適切であると市民が考えていることが伺えます。適切でないの割合が高い項目については、環境像の達成に向けた指標として市民がイメージを抱きにくい項目であると想定されます。

⇒市民が適切であると評価した項目について、新計画の指標に反映します。

「千葉市環境基本計画」を策定するための市民意識調査

お聴かせください。千葉市の環境について、皆様が考えていること、望んでいること。

千葉市の環境についてのアンケート調査ご協力のお願い

日頃から、千葉市政に深いご理解とご協力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

現在、千葉市は、環境保全等に関する「千葉市環境基本計画」を策定するための準備を進めています。

この計画は、市の環境の保全等に関する施策の推進を図るための基本的な計画であり、千葉市の環境全般に大きく関わってくる重要な計画です。

そのために、市民の皆様が日頃考えておられる環境問題や市の環境に対する思い、市に望む環境施策などをお聴きし、今後の計画づくりに反映することを目的として行うものです。

アンケート調査は、十分なアンケート結果を得るため、できるだけ多くの方のご意見をいただきたいと考えております。ご多忙のこととは存じますが、調査にご協力いただきますようお願い申し上げます。

■ご記入について

1. 記入していただく方

- ・ 回答は、お手元に届いた宛名の方が記入されますようお願いいたします。

2. 記入方法

- ・ 回答はあなたのお考えに最も近い番号に○印をつける方式です。それぞれの質問で指定された数の○印をつけてください。
- ・ 「その他」の項目を選択された場合には、お手数ですが（ ）内に具体的な内容をご記入ください。

3. 提出方法

- ・ 回答が終わりました調査票は、同封の返信用封筒に入れて **8月21日(金)**までに郵便ポストにご投函ください。(切手を貼ったり、お名前を記入する必要はありません。)

4. アンケート結果の扱い

- ・ 回答された内容は、すべて統計的に処理し、目的以外に利用することはありません。

5. 問い合わせ連絡先

【調査票の回答方法について】

株式会社オリエンタルコンサルタンツ

TEL : 070-7473-2378 E-mail : ikeno@oriconsul.com

【調査の趣旨について】

千葉市 環境局環境保全部 環境総務課

TEL : 043-245-5234 E-mail : somu.ENP@city.chiba.lg.jp

千葉市では、環境面での総合計画である「千葉市環境基本計画」を平成23年3月に策定し、環境の保全及び創造に関する施策を総合的・計画的に推進しています。

現行計画は令和3年度に満了期間を迎えることから、次期計画の策定に向け、環境に係る市民の皆さまの環境意識等を把握し、策定に係る基礎資料とするため、市民アンケートを実施しております。

お手数をおかけいたしますが、目的及び趣旨をご理解いただき、アンケート調査にご協力いただきますよう、お願い申し上げます。

【参考】環境基本計画における現行計画の体系

現行計画では、本市の目指す望ましい環境都市の姿『豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまち』への実現に向け、5つの目指す環境像と20の基本目標を設定しています。また、それぞれに指標が設定され、進捗を管理しています。



※指標（定量目標及び点検・評価指標）及び2018年度の概要は、ホームページをご参照ください。

https://www.city.chiba.jp/kankyo/kankyohozen/somu/documents/011118_shinngikai-shiryu2.pdf

1-1 回答者情報 1

あなたの性別についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	男
②	女
③	その他

1-2 回答者情報 2

あなたの年齢についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	10代
②	20代
③	30代
④	40代
⑤	50代
⑥	60代
⑦	70歳以上

1-3 回答者情報 3

あなたのお住まいの地区についてお尋ねします。該当する番号を選択してください。

No	項目
①	中央区
②	花見川区
③	稲毛区
④	若葉区
⑤	緑区
⑥	美浜区

2 環境基本計画について

あなたは千葉市環境基本計画をご存知でしたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | |
|----------------------------|
| 1 良く知っている。 |
| 2 名称を聞いたことがあり、内容もなんとなく分かる。 |
| 3 名称を聞いたことがあるが、内容が分からない。 |
| 4 全く知らない。 |

3-1 お住まいの周辺の環境の満足度

あなたのお住まいの周辺の環境について、現在、どの程度満足していますか。以下の項目それぞれについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。

【周辺の環境】	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満
空気のきれいさ	1	2	3	4	5
風の心地よさ	1	2	3	4	5
川・池・海のきれいさ	1	2	3	4	5
公園や街路樹などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5
里山や森林などの豊かさ	1	2	3	4	5
親しみを感じる水辺	1	2	3	4	5
まちの静けさ	1	2	3	4	5
景色や街並みの美しさ	1	2	3	4	5
まちの清潔さ	1	2	3	4	5
鳥や虫などの生き物の豊かさ	1	2	3	4	5
公園や広場などゆとりある空間の身近さ	1	2	3	4	5
日常生活の便利さ	1	2	3	4	5
交通の便利さ	1	2	3	4	5
地域の歴史や文化とのふれあいの多さ	1	2	3	4	5
地域の人へのあたたかさ	1	2	3	4	5
周辺の環境の状況について総合的に	1	2	3	4	5

3-2 お住まいの周辺の環境変化

あなたのお住まいの周辺の環境は、10年前に比べてどのように変化しましたか。以下の項目それぞれについて、あなたの考えに近いものを1つ選んでください。また、その中で1つ選び、理由を教えてください。

【周辺の環境】	良くなった	やや良くなった	どちらともいえない	やや悪くなった	悪くなった	わからない(当時は市内に住んでいなかった)
空気のきれいさ	1	2	3	4	5	6
風の心地よさ	1	2	3	4	5	6
川・池・海のきれいさ	1	2	3	4	5	6
公園や街路樹などの緑の豊かさ	1	2	3	4	5	6
里山や森林などの豊かさ	1	2	3	4	5	6
親しみを感じる水辺	1	2	3	4	5	6
まちの静けさ	1	2	3	4	5	6
景色や街並みの美しさ	1	2	3	4	5	6
まちの清潔さ	1	2	3	4	5	6
鳥や虫などの生き物の豊かさ	1	2	3	4	5	6
公園や広場などゆとりある空間の身近さ	1	2	3	4	5	6
日常生活の便利さ	1	2	3	4	5	6
交通の便利さ	1	2	3	4	5	6
地域の歴史や文化とのふれあいの多さ	1	2	3	4	5	6
地域の人へのあたたかさ	1	2	3	4	5	6
周辺の環境の状況について総合的に	1	2	3	4	5	6

理由

4 環境配慮行動の実施状況

環境問題を解決するための以下の取り組みについて、あなたは日頃どれくらい取り組んでいますか。また、「その他に取り組んでいること」や「取り組まない理由」などがあれば教えてください。

【環境配慮行動】	いつも取り組んでいる	だいたい取り組んでいる	ときどき取り組んでいる	まったく取り組んでいない
食品トレーや新聞紙などの資源回収に協力する。	1	2	3	4
使い捨て製品の使用は、できるだけ控える。	1	2	3	4
食品ロスを出さないように気を付けている。	1	2	3	4
できるだけプラスチック製品を購入しない。	1	2	3	4
環境にやさしい商品すすんで購入する。	1	2	3	4
ごみの分別・ごみ出しは、正しく行う。	1	2	3	4
照明をこまめに消す。	1	2	3	4
省エネルギー型家電製品を選んで購入する。	1	2	3	4
日常生活で節水に気をつける。	1	2	3	4
車の運転は、エコドライブを心がける。	1	2	3	4
近い距離の外出には、自転車や徒歩で出かける。	1	2	3	4
公共交通機関を積極的に利用する。	1	2	3	4
庭やベランダなどで、木や草花を育てる。	1	2	3	4
住まい周辺を自発的に清掃する。	1	2	3	4
地域の環境保全活動に参加する。	1	2	3	4
環境問題に関する情報を積極的に収集する。	1	2	3	4
【その他の取り組み 取り組まない理由など】				

5-1 環境に関する情報の入手方法

あなたは環境についての情報や知識を、どこで知ったり学習したりしていますか。以下の項目の中から、あなたにあてはまるものをすべて選んでください。なお「特になし」をご選択された方は、それ以外の項目を選択しないでください。

- | | | |
|----|-----------------|---|
| 1 | テレビやラジオ | |
| 2 | 新聞や雑誌 | |
| 3 | インターネット | |
| 4 | 市の広報紙やホームページ | |
| 5 | 市の環境学習会や講座 | |
| 6 | 環境保全団体の広報紙やイベント | |
| 7 | 企業の広報紙やイベント | |
| 8 | 家族や友人・知人 | |
| 9 | 学校の授業やイベント | |
| 10 | その他（具体的に | ） |
| 11 | 特になし | |

5-2 提供して欲しいと思う環境保全に関する情報

市のホームページや広報紙などにおいて、あなたが提供・発信してほしいと思う環境保全に関する情報を3つまで選んでください。なお「特になし」をご選択された方は、それ以外の項目を選択しないでください。

- | | | |
|----|------------------------------------|---|
| 1 | 地球温暖化問題など、地球環境問題に関する情報 | |
| 2 | 省エネ・再エネに関する具体的な取り組みや工夫など、暮らしに役立つ情報 | |
| 3 | 市で行っている再生可能エネルギーの導入に係る補助制度に関する情報 | |
| 4 | 市内のごみ焼却量や再資源化、リサイクルの状況などに関する情報 | |
| 5 | ごみを発生させない、ごみを減らすための具体的な取り組みに関する情報 | |
| 6 | 市内に生息する動植物や貴重な自然環境などに関する情報 | |
| 7 | 豊かな自然とふれあえる施設や体験に関する情報 | |
| 8 | 市内の大気や水質、騒音の状況など、生活環境に関する情報 | |
| 9 | 大気や水質などの状態を維持・改善させる取組に関する情報 | |
| 10 | 市内で環境保全活動をしている市民団体やNPO等に関する情報 | |
| 11 | 環境に関する講演会やシンポジウム等の開催に関する情報 | |
| 12 | SDGs、ESG投資*など、環境に関する新しい取組の情報 | |
| 13 | その他（具体的に | ） |
| 14 | 特になし | |

※SDGs：2016年～2030年までの15年間で世界が達成すべきゴールを表したもの

ESG投資：「持続可能な社会」を築くことに貢献し、中長期的に発展する展望のある企業を投資によって支援すること

7-1 環境像について

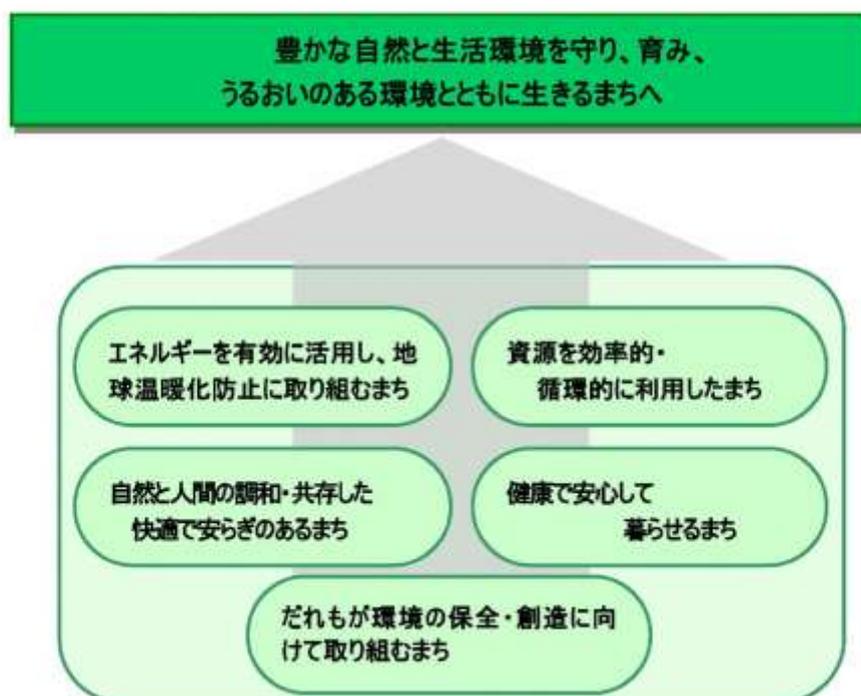
現在の千葉市環境基本計画では望ましい都市の姿『豊かな自然と生活環境を守り、育み、うるおいのある環境とともに生きるまちへ』の実現のために、5つの項目（環境像）を設定しています。

それぞれの環境像とお住いの地域の環境を比較してどのように感じていますか。項目ごと「達成度」及び「重要度」について最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。

回答上の注意

- ・達成度：各項目に記載の通りのまちになっているか、考えに近いものを回答してください。
- ・重要度：各項目がどの程度重要かについて、他の項目と比較しながら回答してください。

回答欄 ＜達成度＞					項目【環境像】	回答欄 ＜重要度＞				
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	やや重要でない	重要でない
1	2	3	4	5	①エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	②資源を効率的・循環的に利用したまち	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	③自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	④健康で安心して暮らせるまち	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑤だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち	1	2	3	4	5



7-2 環境像について

7-1にて達成度をそのように答えた理由を、それぞれの項目ごとに教えてください。※選んだ人のみ表示されるように設定

①エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち

理由

②資源を効率的・循環的に利用したまち

理由

③自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち

理由

④健康で安心して暮らせるまち

理由

⑤だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち

理由

8 基本目標の効果検証

7-1にてお示した5つの環境像の実現のため、20の項目（基本目標）を設定しています。基本目標ごとにあなたの居住する地域における「達成度」及び「重要度」について最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。居住する地域が該当しない項目については、千葉市全体を対象としてお考えください。

回答上の注意

- ・達成度：各項目に記載の通りのまちなっているか、考えに近いものを回答してください。
- ・重要度：各項目がどの程度重要かについて、他の項目と比較しながら回答してください。

回答欄					項目【基本目標】	回答欄				
<達成度>						<重要度>				
満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満		重要	やや重要	どちらともいえない	やや重要でない	重要でない
エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち										
1	2	3	4	5	①エネルギーを環境に優しく利用する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	②再生可能エネルギー、未利用エネルギーを活用する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	③ヒートアイランド対策を推進する。	1	2	3	4	5
資源を効率的・循環的に利用したまち										
1	2	3	4	5	④資源を大切に利用する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑤廃棄物の発生を抑制する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑥廃棄物を適正に処理する。	1	2	3	4	5
自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち										
1	2	3	4	5	⑦豊かな生物多様性と健全な生態系を確保する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑧豊かな緑と身近にふれあえる水辺を確保する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑨良好な景観を保全・創造する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑩自然とふれあう。	1	2	3	4	5
健康で安心して暮らせるまち										
1	2	3	4	5	⑪空気のきれいさを確保する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑫川・海・池のきれいさを確保する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑬まちの静けさやすがすがしさを確保する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑭有害な化学物質による環境汚染を未然に防止する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑮地下水・土壌等の安全を確保する。	1	2	3	4	5
だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち										
1	2	3	4	5	⑯環境保全・創造の意欲を増進する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑰環境教育を推進する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑱市民、事業者、民間団体等との連携を推進する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑲環境関連産業を育成し、技術開発を促進する。	1	2	3	4	5
1	2	3	4	5	⑳地域間協力・国際協力を推進する。	1	2	3	4	5

9-1 指標の効果検証1

千葉市環境基本計画では5つの環境像の実現の達成度をはかるため、それぞれの環境像ごとに指標を設けています。環境像①「エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

千葉市が目指しているまちの姿【環境像】

①エネルギーを有効に活用し、地球温暖化防止に取り組むまち

私たちの便利で快適な生活は、多くのエネルギーによって支えられており、石油や石炭等の化石燃料を多量に消費した結果、地球温暖化などの環境問題が生じています。

本市は、産業活動が旺盛でまた全国平均を上回る人口の集中が進んでいます。より良い環境を将来の市民に引き継いでいくために、全ての市民、事業者においてライフスタイルを見直し、エネルギーを有効に活用し、温暖化防止に取り組むまちづくりを目指します。

項目【目標・指標】	適切である	適切でない	分からない
(1) 温室効果ガス*の排出量	1	2	3
(2) CO ₂ 排出量が少ない公共交通機関利用者数	1	2	3
(3) CO ₂ を出さない自転車の、専用道路（自転車専用通行帯）が整備された長さ	1	2	3
(4) 環境負荷の少ない資機材の使用や室内の快適性に配慮した建築物（CASBEE）の設置数	1	2	3
(5) 木造公共建築物の延床面積	1	2	3
(6) 再生可能エネルギーの導入量	1	2	3
(7) 未利用エネルギーの導入量	1	2	3
(8) 太陽光発電設備設置件数（助成件数）	1	2	3
(9) 太陽熱利用給湯システムの利用件数(助成件数)	1	2	3
(10) 屋上壁面緑化助成件数	1	2	3
(11) 熱帯夜の年間発生日数	1	2	3
自由記述欄			

※温室効果ガス：大気を暖められ、温暖に保つ機能をもつ気体。大気中の温室効果ガスの濃度が急激に増加することで地球の平均気温が上昇し、地球温暖化を引き起こしている。

9-2 指標の効果検証2

環境像②「資源を効率的・循環的に利用したまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

千葉市が目指しているまちの姿【環境像】

②資源を効率的・循環的に利用したまち

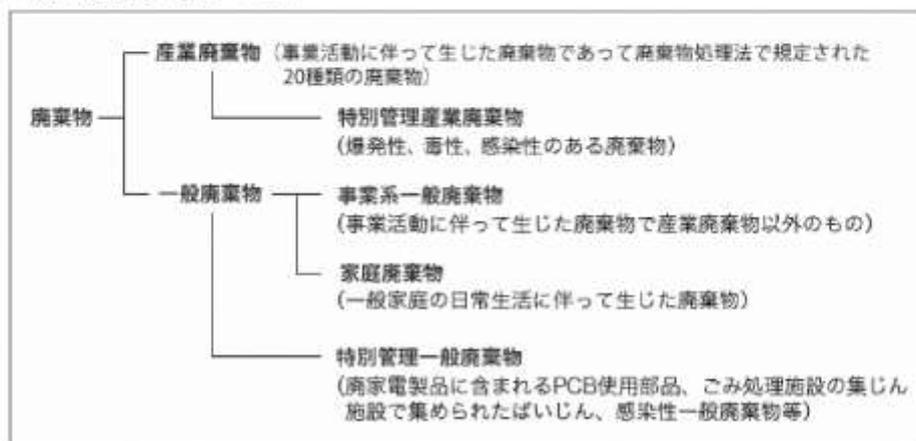
物質的な豊かさは、限りある資源やエネルギーを大量に消費しつつ廃棄物問題等さまざまな環境問題を引き起こします。

市民・事業者・市がそれぞれの立場から、生産、流通、消費、廃棄等のすべての段階を通じて、**廃棄物**を出さない努力をし、**廃棄物の再使用、再生利用**などに取り組み、**循環のシステムを構築し、資源が効率的・循環的に利用されて環境への負荷が少ない循環型社会の形成**を目指します。

項目【目標・指標】	適切である	適切でない	分からない
(1) 一般廃棄物 [※] の再生利用率（リサイクル率）	1	2	3
(2) 産業廃棄物 [※] の再生利用率（リサイクル率）	1	2	3
(3) 一般廃棄物の焼却処理量（燃やすごみの量）	1	2	3
(4) 一般廃棄物の総排出量	1	2	3
(5) 産業廃棄物排出量	1	2	3
(6) 一般廃棄物の最終処分量（埋め立て等で処分されるごみの量）	1	2	3
(7) 産業廃棄物の最終処分量（埋め立て等で処分されるごみの量）	1	2	3
(8) 一般廃棄物の不法投棄件数	1	2	3
(9) 産業廃棄物の不法投棄件数	1	2	3
自由記述欄			

※産業廃棄物：事業活動に伴って生じた廃棄物

※一般廃棄物：産業廃棄物以外のごみ



▲廃棄物の分類

9-3 指標の効果検証3

環境像③「自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

千葉市が目指しているまちの姿【環境像】

③自然と人間の調和・共存した快適で安らぎのあるまち

身近に海や多くの緑が存在する千葉市の自然環境は、私たちの生活に豊かな恵みを与え、私たちを支えています。

しかし近年、都市化の進展等により、自然との調和が損なわれることが危ぶまれています。このバランスを崩さず、未来に多種多様ないのちを継承するまちの実現を目指します。

項目【目標・指標】	適切である	適切でない	分からない
(1) 森林面積	1	2	3
(2) 里山地区の数	1	2	3
(3) 貴重な生物の生息量	1	2	3
(4) 谷津田の保全面積	1	2	3
(5) 自然に優しい河川堤防（多自然護岸整備河川）が整備された長さ	1	2	3
(6) 住民の利用に供するために設置・管理する緑地（市民緑地）の数や面積	1	2	3
(7) 親しみのある水辺に整備した河川堤防の長さ	1	2	3
(8) 豊かな緑を未来へ継承するために指定する地区（特別緑地保全地区）の数や面積	1	2	3
(9) 市民農園箇所数や利用者数	1	2	3
(10) 住民の利用に供するために設置・管理する緑地（市民緑地）の維持管理団体数	1	2	3
(11) 自然観察会等参加者数や開催数	1	2	3
(12) 人びとが水に親しみ楽しめるような施設（親水性施設）整備箇所数	1	2	3
(13) 大規模な公園（千葉公園や昭和の森など）の利用者数	1	2	3
自由記述欄			

9-4 指標の効果検証4

環境像④「健康で安心して暮らせるまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度を
はかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。ま
た、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

千葉市が目指しているまちの姿【環境像】

④健康で安心して暮らせるまち

私たちが健康で安心して暮らすには、私たちを取り巻く大気や、手に触れ口に入れる水が、清浄で安全なものでなくてはなりません。また、目に見えない化学物質への対策も重要です。

様々な人間の活動が環境に負荷を与えることにより、大気汚染や水質汚濁をひきおこすことがないよ
う、また、騒音、振動、悪臭等により日常生活に支障を及ぼすことのないように、市民・事業者・市が一
体となって目指します。

項目【目標・指標】	適切である	適切でない	分からない
(1) 大気汚染状況	1	2	3
(2) 市役所の保有する低公害車（電気自動車等の環境に優しい自動車）の台数	1	2	3
(3) 市域全体の低公害車（電気自動車等の環境に優しい自動車）の普及率	1	2	3
(4) 水質汚染状況	1	2	3
(5) 下水道や集落排水にいつでも接続できるように整備された区域内の人口の割合（汚水処理人口普及率）	1	2	3
(6) 都川、鹿島川、花見川の平常時の流量	1	2	3
(7) 市民1人あたりの水道使用量	1	2	3
(8) 騒音の発生状況	1	2	3
(9) 有害な化学物質の排出状況	1	2	3
(10) 事業者による有害な化学物質の排出量や移動量	1	2	3
(11) 地下水の汚染状況	1	2	3
(12) 土壌の汚染状況	1	2	3
(13) 地盤沈下が単年度で2cm以上進んだ地点数	1	2	3
自由記述欄			

9-5 指標の効果検証5

環境像⑤「だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち」に関する指標のうち、下記に示す指標は環境像の達成度をはかる指標として適切だと思いますか。最も近い答えを1つずつ選び、番号を選択してください。また、環境像の達成のための指標として、他に適切だと思う案がある方は自由記述欄にご記入ください。

千葉市が目指しているまちの姿【環境像】

⑤だれもが環境の保全・創造に向けて取り組むまち

千葉市の発展は、活発な事業活動を抜きに語ることはできません。経済活動を発展させつつ、身近な自然を守り、次世代に引き継いでいくためには、私たち一人ひとりが、人間と環境の関わりを正しく理解するとともに、環境に対する人間の責任と役割を自覚し、環境保全活動に取り組んでいく意識を高めることが大切です。市民・事業者・市がそれぞれの立場から、環境の保全・創造に向けて取り組むまちの実現を目指します。

項目【目標・指標】	適切である	適切でない	分からない
(1) 環境関連施設（リサイクル施設や緑化施設）利用者数	1	2	3
(2) 環境マネジメントシステム認証（企業などの活動が環境に及ぼす影響を最小限にとどめることを目的に定められた国際的な標準規格）取得事業所件数	1	2	3
(3) NPOなどの環境保全活動団体数	1	2	3
(4) 地球環境保全協定（市と地球環境に配慮した事業者が締結する協定）の締結数	1	2	3
(5) 市民の環境に配慮し行う自主的な行動（環境配慮行動）の実践状況	1	2	3
(6) 事業者の環境に配慮し行う自主的な行動（環境配慮行動）の実践状況	1	2	3
(7) 環境学習（環境問題について認識を深める学習）の参加者数	1	2	3
(8) 環境問題の解決に向けた能力の育成を図る目的で小中学校を指定する環境学習モデル校の参加児童、生徒数	1	2	3
(9) 市民、事業者等と連携した環境に関する事業数	1	2	3
(10) 環境に関する研修会や講座に参加した人数（人材育成数）	1	2	3
(11) 環境分野に関する相談件数	1	2	3
(12) 地域間協力した取組み数	1	2	3
(13) 開発途上国の人材育成のために受け入れた研究生などの環境関連の交流人数	1	2	3
自由記述欄			

10 望ましい環境都市の姿について

10年後、20年後を見据えて、将来の千葉市の環境はどうなっていると思いますか・どうあってほしいですか。ご自由にご記入ください。



【参考】現行計画（2011年策定）が目指すイメージ

【あって欲しい未来の姿・その理由 など】

上記の未来の姿を実現するには何をすると考えますか。皆様のご意見をご記入ください。

【未来の姿を実現するために必要なこと】